

---

**ネットワークユーティリティ説明書**

---

# 目 次

はじめに	1
1. ネットワークユーティリティとは	2
2. ネットワークユーティリティ	2
3. root パスワード設定	6
4. 環境の詳細設定	8
5. 無線 LAN 設定	12
5.1 「Infrastructure」モード	13
5.2 「802.11 Ad hoc」モード	31
6. テスト印刷	39
6.1 自己診断印刷	39
6.2 設定印刷	40
7. IP アドレスの設定方法	41
8. インストール方法	43
9. アンインストール方法	48

# ネットワークユーティリティ

## はじめに

本書はネットワークユーティリティについての説明書となります。本書で説明しているプリンタドライバ画面は、特に断りがない限り BF408R を使用しています。そのため、実際にお使いになるプリンタ機種によっては、画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

# ネットワークユーティリティ

## 1. ネットワークユーティリティとは

プリンタを LAN 環境で使用される場合、プリンタに IP アドレス等の動作条件を設定する必要があります。ネットワークツール (AdminManager) とは、LAN 接続されたプリンタ本体の環境設定をネットワーク接続されたパソコンから行うツールソフトです。

本ツールの対象機種は BF400R、SG400R、ST300R、RT308R となります。

SG400R-ex、SG112T/R、SG600R、HA200R、GN412T は「プリンタ設定ツール」を使用して LAN の設定が行えます。詳細は「プリンタ設定ツール説明書」を参照してください。

## 2. ネットワークユーティリティ

2-1. アクセサリ CD-ROM のプリンタ画面から「ユーティリティ」を選択してください。



図 2-1. プリンタ画面

## ネットワークユーティリティ

2-2. リストの中から「SG400R、BF400R ネットワークユーティリティ」を選択し、「起動」をクリックしてください。

※ST300R、RT308R の場合は「ネットワークユーティリティ」を選択してください。



図 2-2. ユーティリティ画面

2-3. ネットワークユーティリティを起動すると、図 2-3 に示す画面が表示されます。

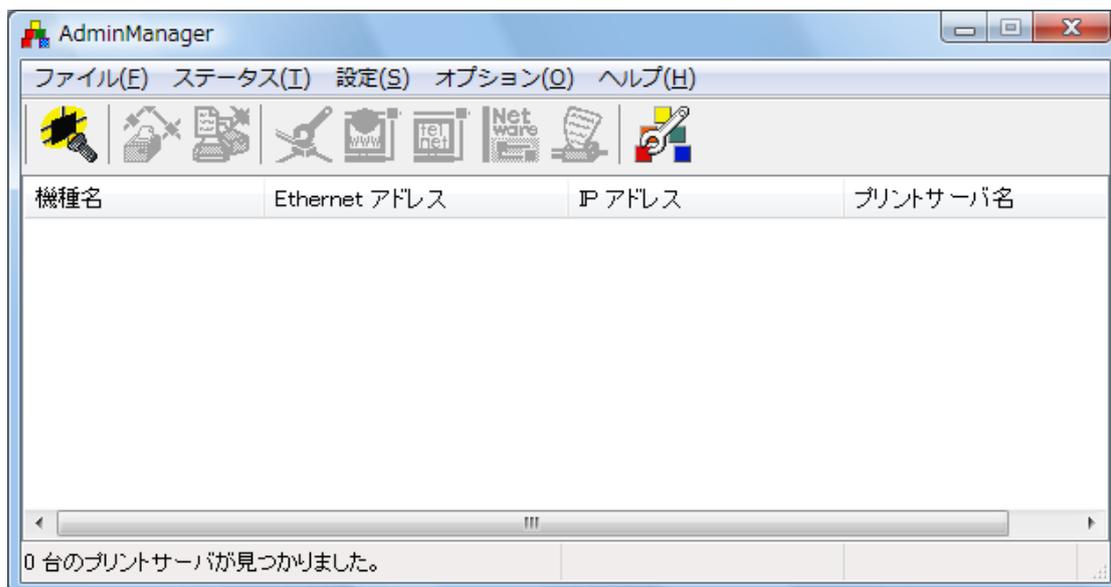


図 2-3. AdminManager 起動直後の画面

# ネットワークユーティリティ

- 2-4. 「検索」をクリックすることによって、LAN 接続されている SATO プリンタを確認することができます。また、「ファイル(F)」を開き、「検索(S)」をクリックすることによっても LAN 接続されている SATO プリンタを確認することができます。  
あらかじめプリンタの電源を入れて、ネットワークユーティリティを実行するパソコンとプリンタを同じ LAN 環境に接続してください。

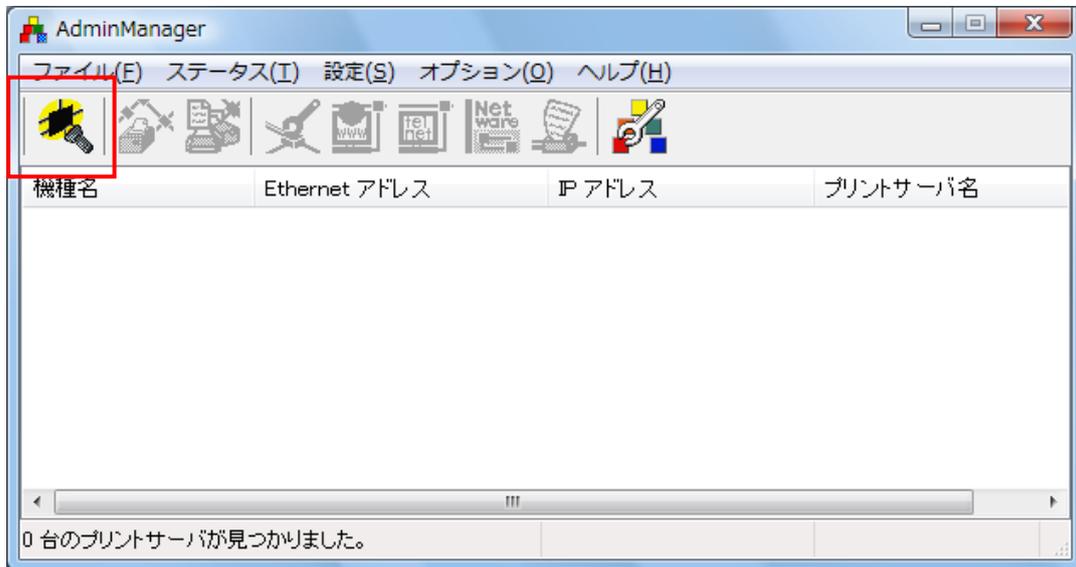


図 2-4. 検索画面

- 2-5. 検索後、図 2-5 の画面のように機種名、Ethernet アドレス、IP アドレスが表示されます。サトープリンタを検索した場合の機種名は LAN ボードの場合「SATO PRINTER」、無線 LAN ボードの場合「SATO PRINTER WL」となります。

※検索してもサトープリンタが表示されない場合※

- (1) タイミングにより検索できないことがありますので、何度か検索を試してください。
- (2) Windows Vista 以降の Windows OS と初期設定の LAN ボードの組合せで、DHCP サーバがない環境下の場合に、LAN ボード/無線 LAN ボードが検索できないことがあります。この場合には、次ページの手順で設定を行ってから改めて検索してください。

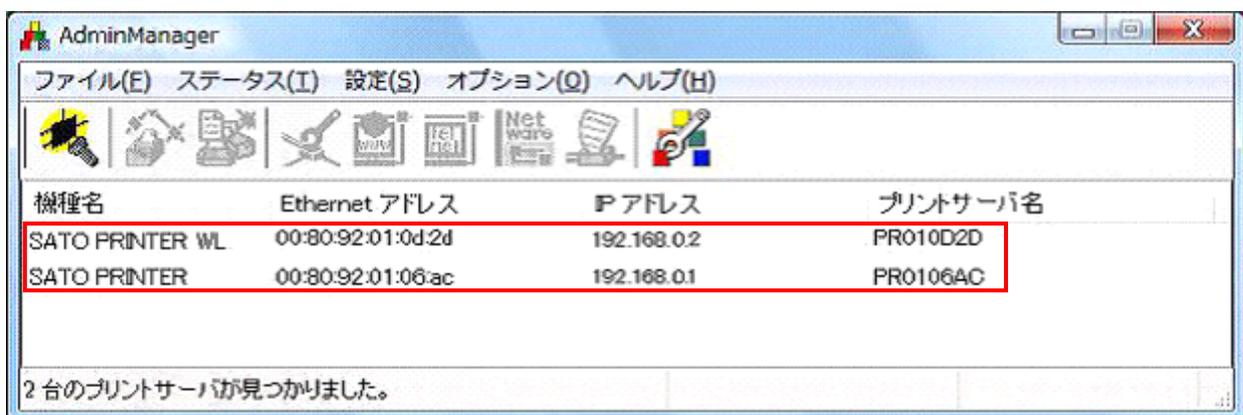


図 2-5. 検索画面（プリンタが検索にヒットした場合）

# ネットワークユーティリティ

(2-1) アクセサリ CD-ROM の TOOLS¥NETAP¥IPSS.T.exe を管理者権限で実行します。

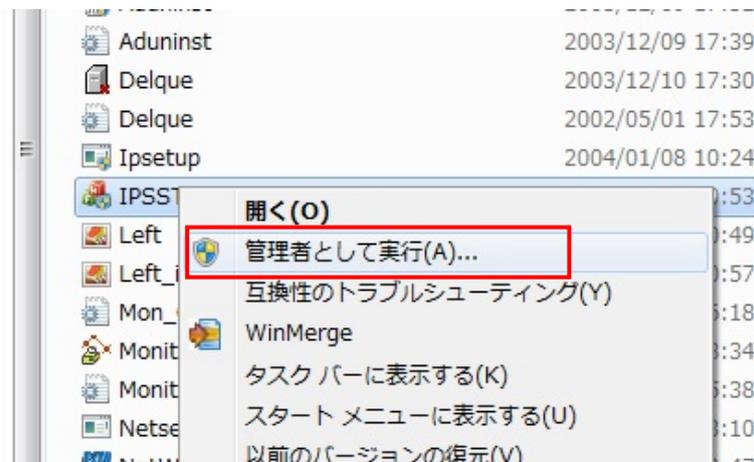


図 2-7 TOOLS¥NETAP フォルダ

(2-2) IP Setting Support Tool に LAN ボードの MAC アドレスと設定したい IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。IP アドレスは、ping が到達する IP アドレスにする必要があります。※MAC アドレスは LAN ボードの基板に貼られたシールをご確認ください(E/A 00:80:92:xx:xx:xx と記載されています)。また、LAN ボードを取り外す際はプリンタの電源をお切りください。

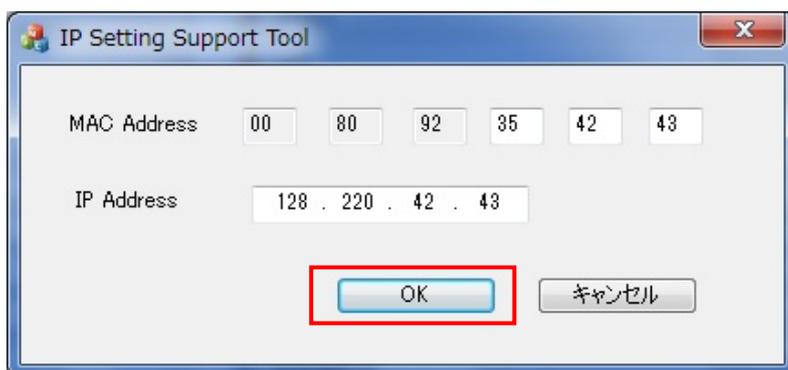


図 2-8 IP Setting Support Tool の入力例

(2-3) 図 2-9 のメッセージが表示されたら AdminManager を起動します。プリンタを検索して、再度 IP アドレス等の設定を行います。



図 2-9 AdminManager 起動要求画面

# ネットワークユーティリティ

## 3. root パスワード設定

3-1. 設定を行うプリンタを選択してください。

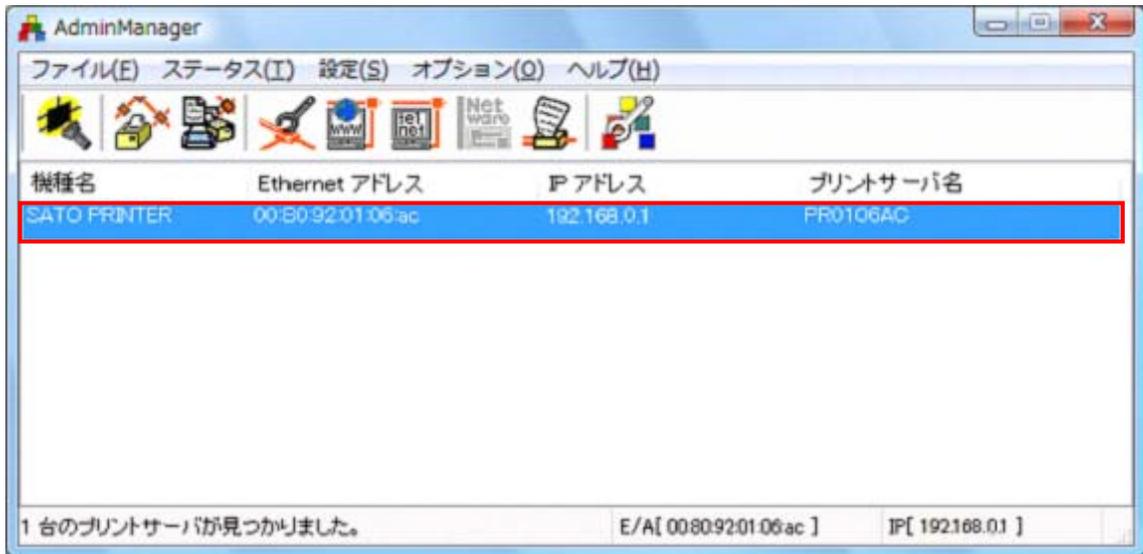


図 3-1. プリンタ選択画面

3-2. 「設定(S)」 - 「プリントサーバの設定(S)」をクリックしてください。※1

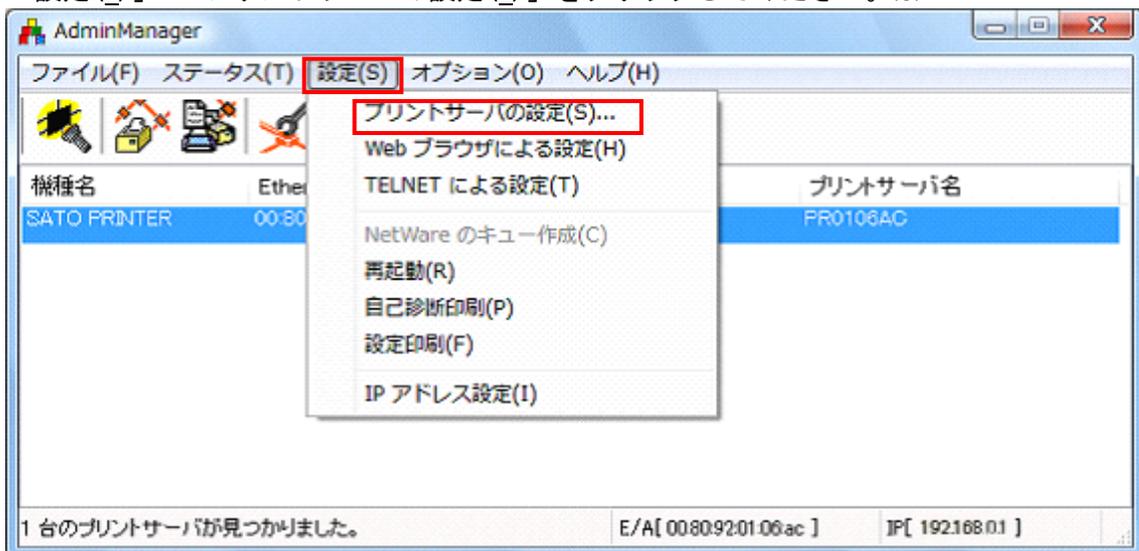


図 3-2-1. プリントサーバ設定実行画面

### 【補足説明】

※1 設定を行うプリンタをクリックするか、図 3-2-2 のアイコンをクリックしていただく方法でもプリントサーバの設定を行えます。

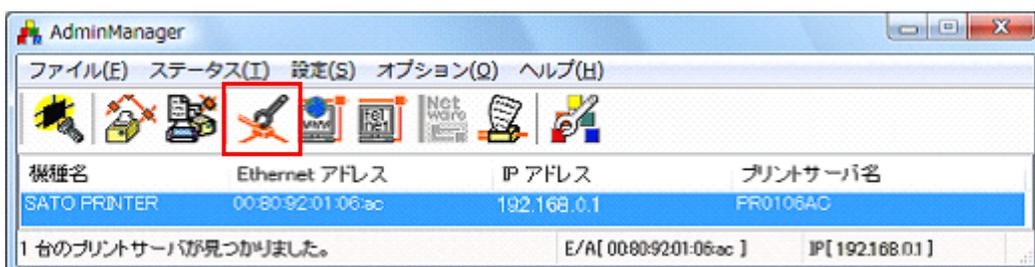


図 3-2-2. プリントサーバ設定アイコン画面

# ネットワークユーティリティ

3-3. 「General」 - 「root パスワード変更」をクリックしてください。



図 3-3. root パスワード変更画面

3-4. 「古いパスワード」を設定してください。（初期値は空白です。）



図 3-4. 古いパスワード設定画面

3-5. 「新しいパスワード」を設定後、「新しいパスワードの確認入力」を設定し、「OK」をクリックしてください。

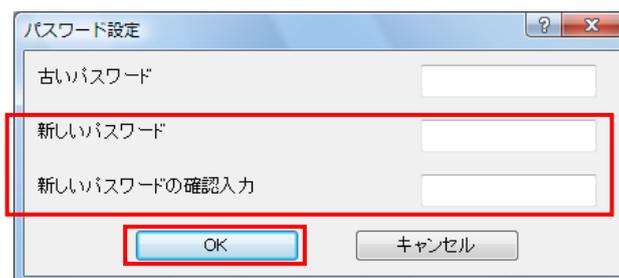


図 3-5. 新しいパスワード設定画面

# ネットワークユーティリティ

## 4. 環境の詳細設定

4-1. 設定を行うプリンタを選択してください。

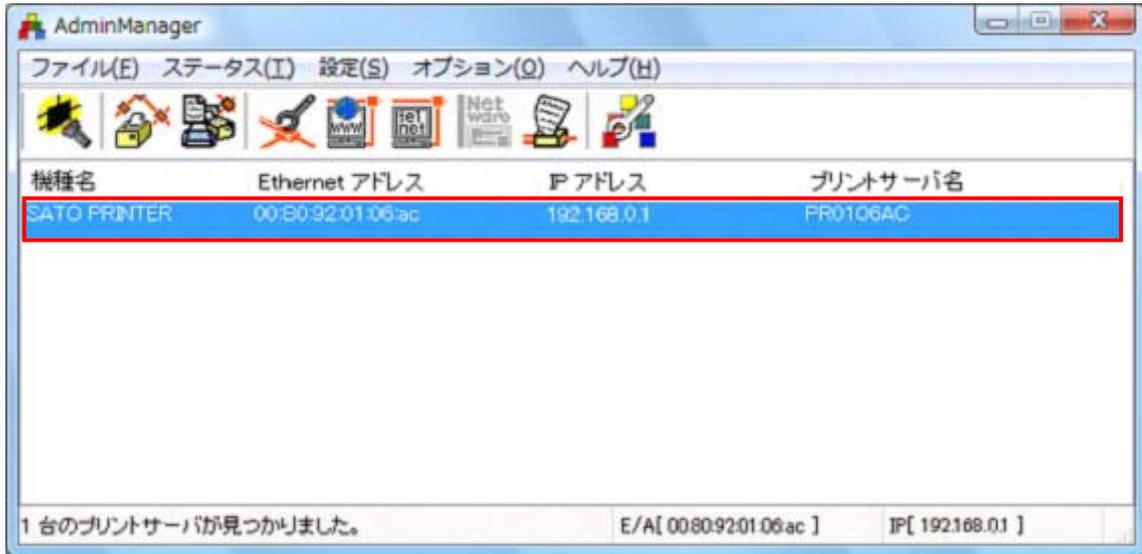


図 4-1. プリンタ選択画面

4-2. 「設定 (S)」 - 「プリントサーバの設定 (S)」をクリックしてください。※1

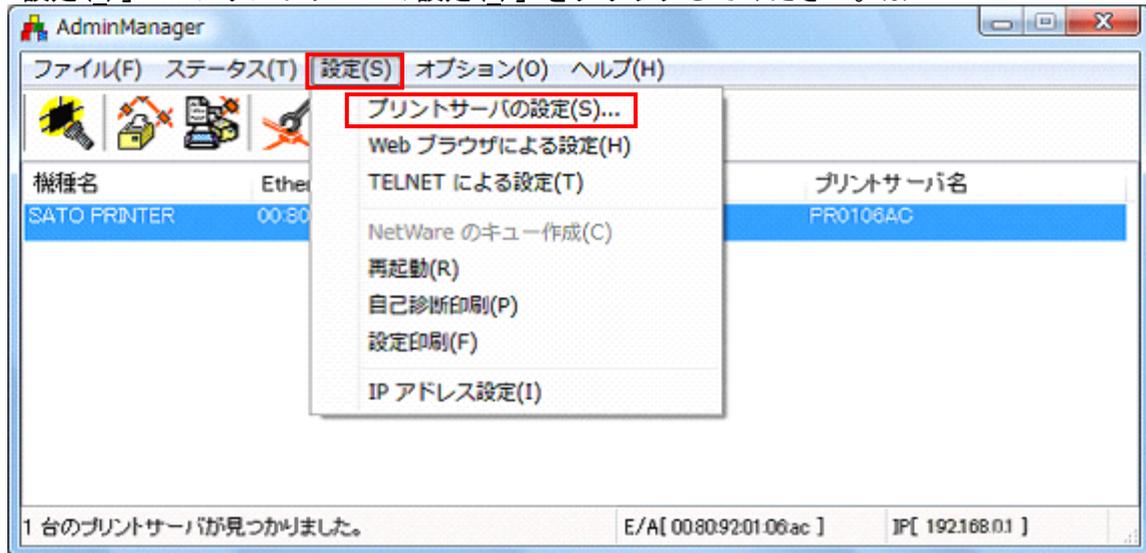


図 4-2-1. プリントサーバ設定実行画面

### 【補足説明】

※1 設定を行うプリンタをクリックするか、図 4-2-2 のアイコンをクリックしていただく方法でもプリントサーバの設定を行えます。

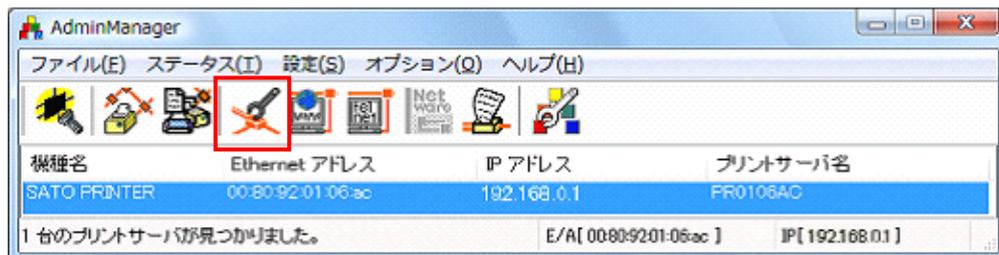


図 4-2-2. プリントサーバ設定アイコン画面

# ネットワークユーティリティ

4-3. 「TCP/IP」をクリックしてください。



図 4-3. TCP/IP 設定画面

4-4. 各項目の設定後、「設定」をクリックしてください。

- ① DHCP/BOOTP 設定。(無効に設定してください)
- ② RARP 設定 (無効に設定してください)
- ③ IP アドレス設定
- ④ サブネットマスク設定
- ⑤ デフォルトゲートウェイ設定
- ⑥ FTP/LPD バナー設定 (無効に設定してください)



図 4-4. 環境設定画面

# ネットワークユーティリティ

- 4-5. 図 4-5 の確認画面が表示されます。  
変更内容に問題なければ、「OK」をクリックしてください。  
プリンタに設定内容を登録します。

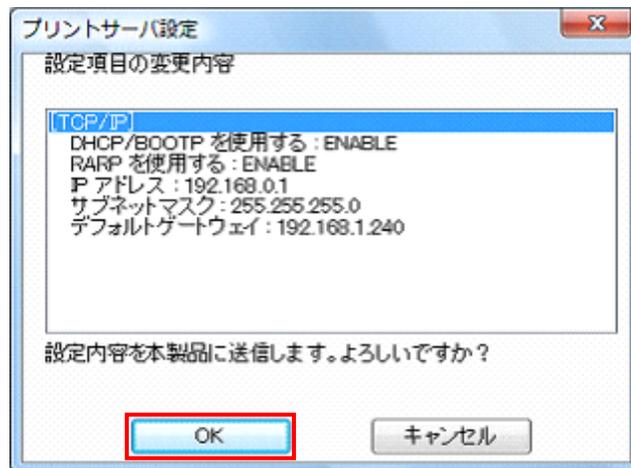


図 4-5. プリントサーバ設定確認画面

- 4-6. 登録を終了すると図 4-6 のメッセージを表示します。「OK」をクリックしてください。

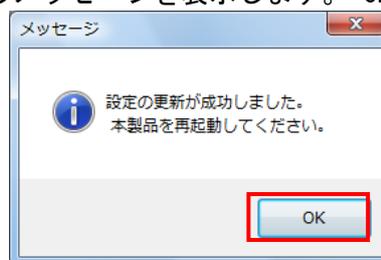


図 4-6. 設定終了確認画面

- 4-7. 設定内容を有効にするには、AdminManager を再起動する必要があります。  
「設定(S)」 - 「再起動(R)」をクリックしてください。

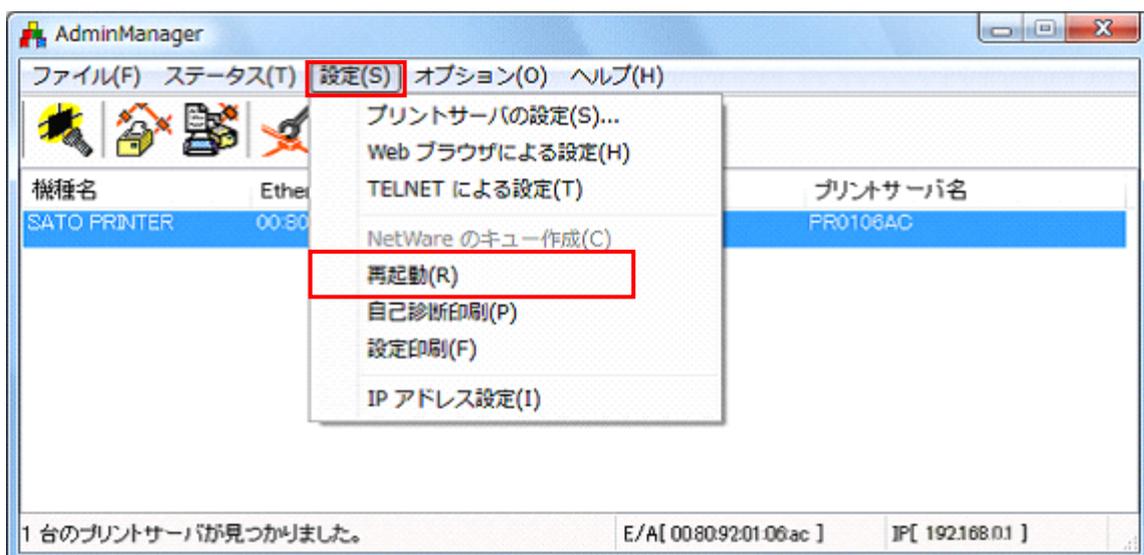


図 4-7. 再起動実行画面

# ネットワークユーティリティ

4-8. 「はい(Y)」をクリックしてください。AdminManager の再起動を実行します。

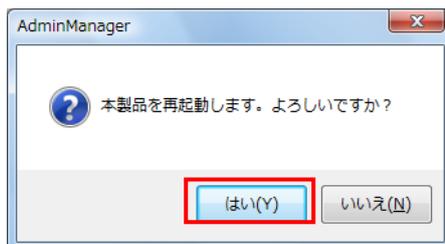


図 4-8. 再起動確認画面

4-9. 設定を行ったプリンタの電源を OFF/ON して再起動を行ってください。

4-10. 再起動実行後、再度検索を行い設定した IP アドレスが表示されることを確認してください。

## 【補足説明】

1. プリンタの LAN ボードに IP アドレス、サブネットマスクが設定済みの場合は、パソコンの IP アドレス、サブネットマスクのクラス不一致により、書込みエラーとなる場合があります。その際は、プリンタ LAN ボードの設定情報の初期化（プリンタ LAN ボード DSW2 を ON に変更後、プリンタの電源を入れると、10 秒ほどで設定値が初期化されます。初期化後はプリンタの電源を切り、DSW2 を OFF に戻します。）によって、対応することが可能です。（初期化操作は必要時のみ行ってください。）
2. DHCP サーバ、RARP サーバが設けられた LAN 環境では、プリンタの電源 ON 後に IP アドレスがセットされることがあります。その際は、カスケードを外したローカルな環境で、設定操作を行ってください。
3. 無線 LAN ボードの WEP Key の初期値は無効のため、アクセスポイント等ホスト側で Wep Key を使用している場合は設定できません。その際は、ホスト側の WEP 設定を一時的に無効にして、設定操作を行ってください。
4. Windows XP ServicePack2 以降で Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、検索が出来ない場合があります。その際には、無効にしてください。

# ネットワークユーティリティ

## 5. 無線 LAN 設定

以下の設定は、プリンタに無線 LAN ボードをセットしている場合に有効となります。

1. 設定を行うプリンタを選択してください。

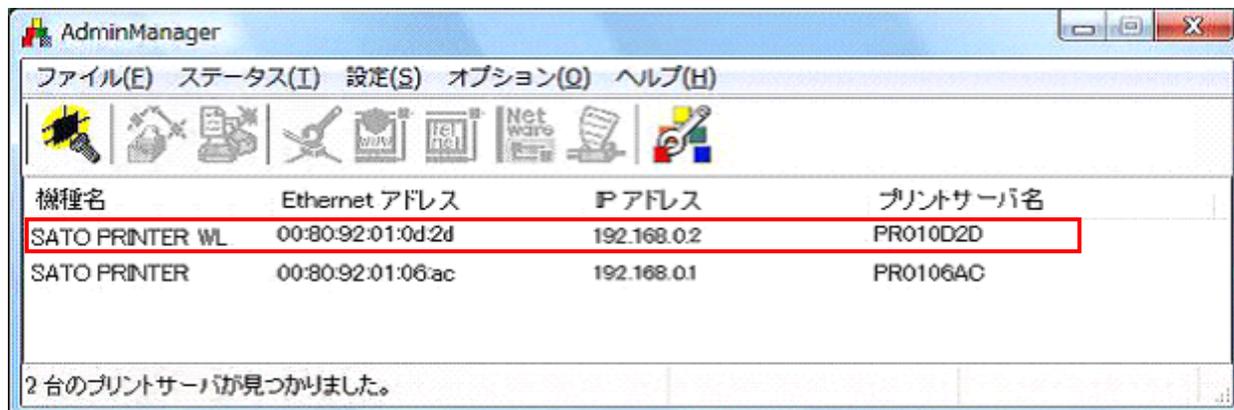


図 5-①. プリンタ選択画面

2. 「設定 (S)」 - 「プリントサーバの設定 (S)」 をクリックしてください。 ※1

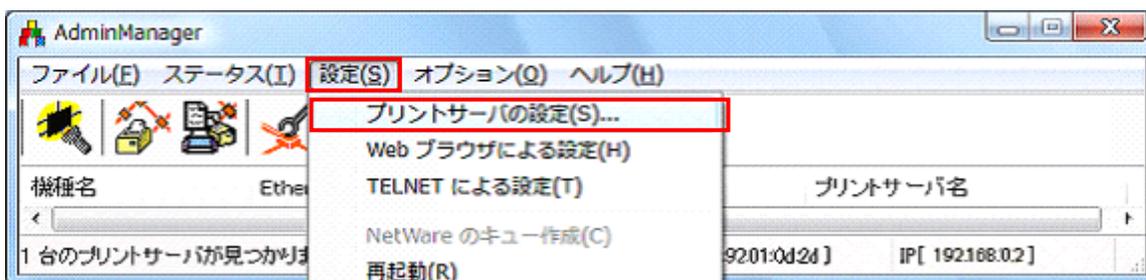


図 5-2-①. プリントサーバ設定実行画面

### 【補足説明】

※1 設定を行うプリンタをクリックするか、図 5-2-②のアイコンをクリックしていただく方法でもプリントサーバの設定を行えます。

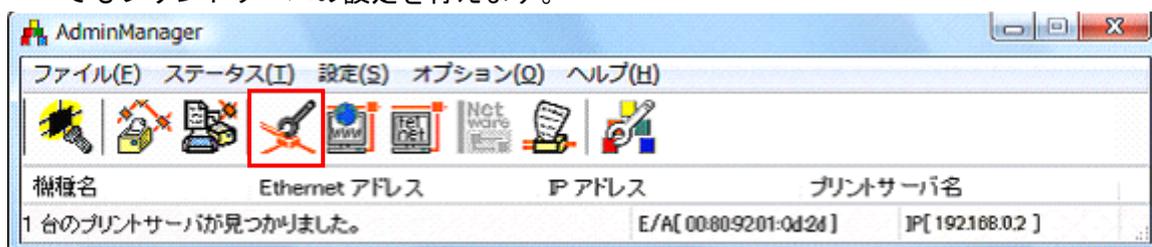


図 5-2-②. プリントサーバ設定アイコン画面

# ネットワークユーティリティ

3. 「Wireless」 をクリックしてください。



図 5-③. Wireless 設定画面

## 5.1 「Infrastructure」モード

「Infrastructure」モードの設定内容は以下の通りになります。  
無線 LAN ボードの DSW4:0N 設定のときに、Infrastructure モードで動作します。

1. SSID 設定  
任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます。(初期値は「default」です。)



図 5-1-1. SSID 設定画面

# ネットワークユーティリティ

## 2. 通信チャンネル設定

「Infrastructure」モードでは、通信チャンネルの指定は可能ですが、設定は無効となります。



図 5-1-2. 通信チャンネル設定画面

## 3. 認証方式設定

「Open System」を選択してください。「Shared Key」については P26【補足説明】を参照してください。

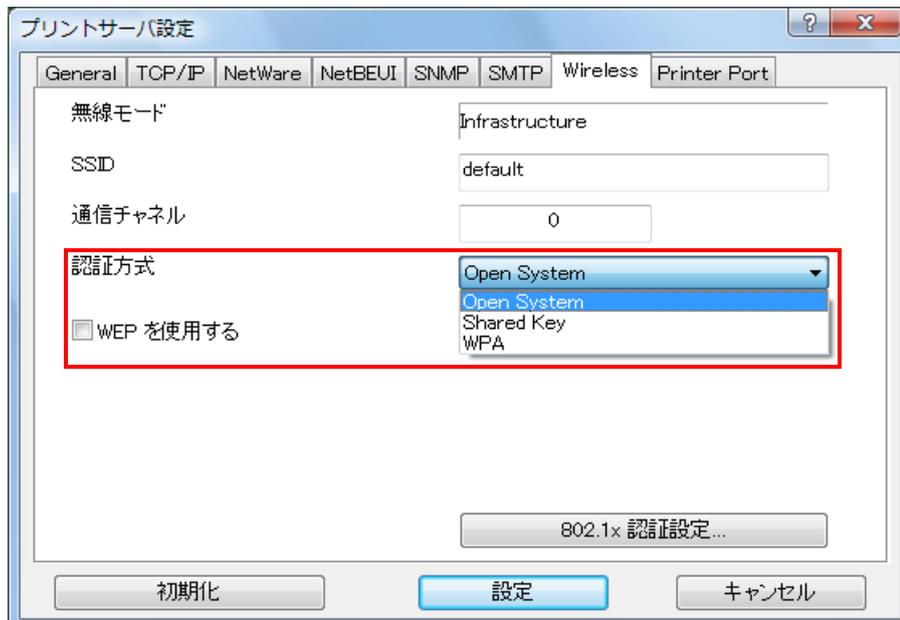


図 5-1-3. 認証方式設定画面

# ネットワークユーティリティ

4. WEP を使用する場合、「WEP を使用する」にチェックすると、「WEP キー」が表示されます。WEP を使用しない場合は「11. 802.1x 認証設定」へ進んでください。

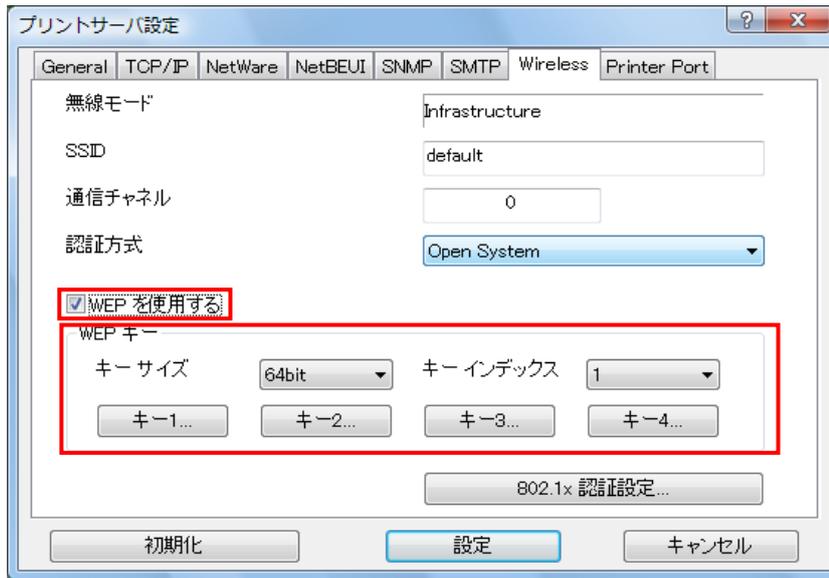


図 5-1-4. WEP 設定画面

5. キーサイズを「64bit」に指定した場合  
「キー1」～「キー4」をクリックしてください。

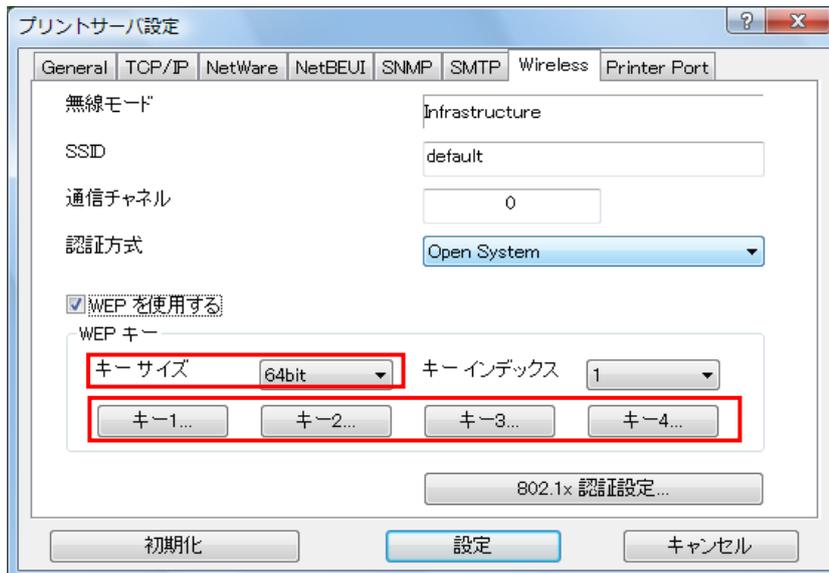


図 5-1-5. キー設定 (64bit) 画面

# ネットワークユーティリティ

6. 「キー1」～「キー4」をクリックすると「WEP キー設定」が開きます。図 5-1-6-1「ASCII」を選択した場合は英数字 5 文字を入力し、「OK」をクリックしてください。また、図 5-1-6-2「HEX」を選択した場合は 16 進コードを入力し、「OK」をクリックしてください。

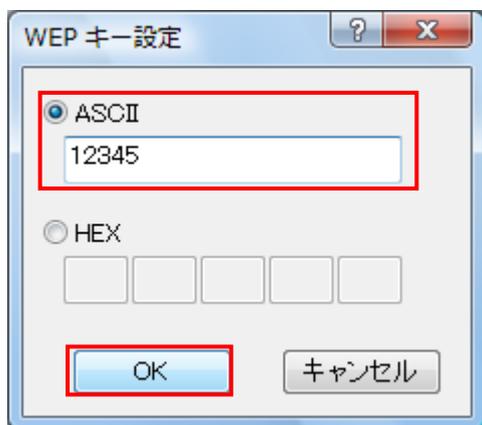


図 5-1-6-1. ASCII 設定画面

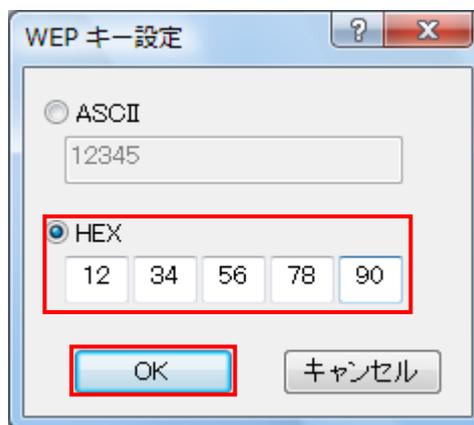


図 5-1-6-2. HEX 設定画面

7. 「キーインデックス」選択により使用するキーを選択してください。

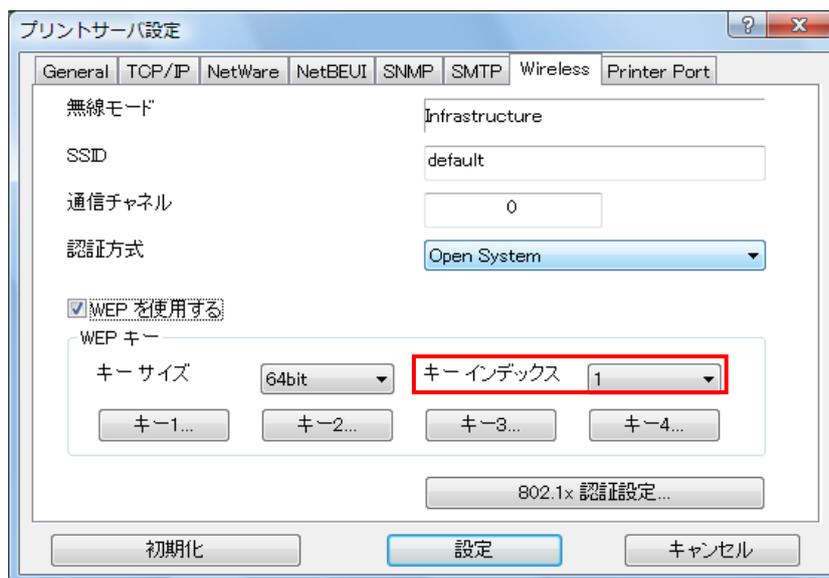


図 5-1-7. キーインデックス選択画面

# ネットワークユーティリティ

8. キーサイズを「128bit」に指定した場合  
「キー1」～「キー4」をクリックしてください。



図 5-1-8. キー設定 (128bit) 画面

9. 「キー1」～「キー4」をクリックすると「WEP キー設定」が開きます。図 5-1-9-1 「ASCII」を選択した場合は英数字 13 文字を入力してください。また、図 5-1-9-2 「HEX」を選択した場合は 16 進コードを入力してください。

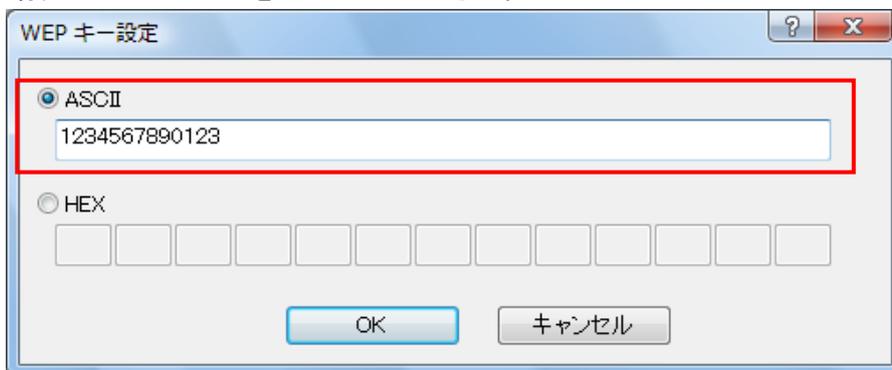


図 5-1-9-1. ASCII 設定画面



図 5-1-9-2. HEX 設定画面

# ネットワークユーティリティ

10. 「キーインデックス」選択により使用するキーを選択してください。

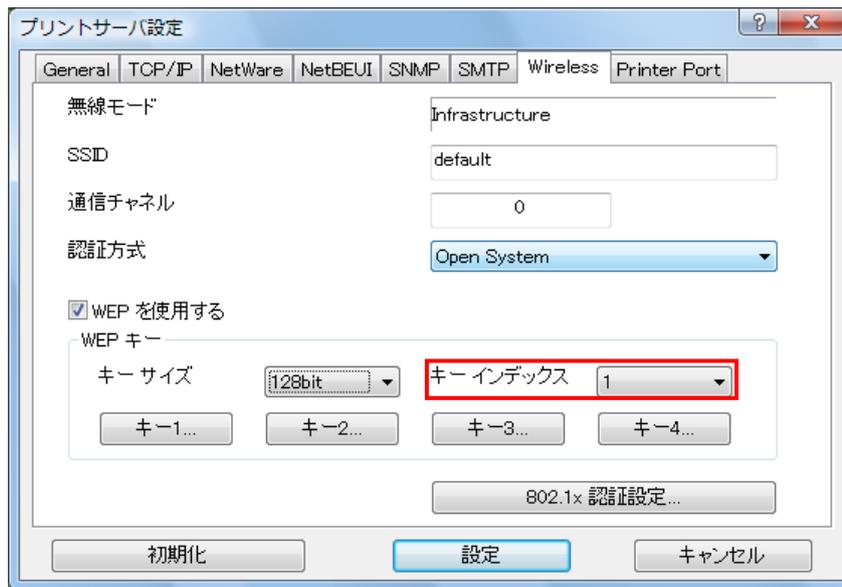


図 5-1-10. キーインデックス選択画面

11. 802.1x 認証設定  
「802.1x 認証設定」をクリックしてください。(WEP を使用しない場合)



図 5-1-11. 802.1x 認証設定実行画面

# ネットワークユーティリティ

## 12. 802.1x 認証設定

「DISABLE」か「ENABLE」を選択してください。

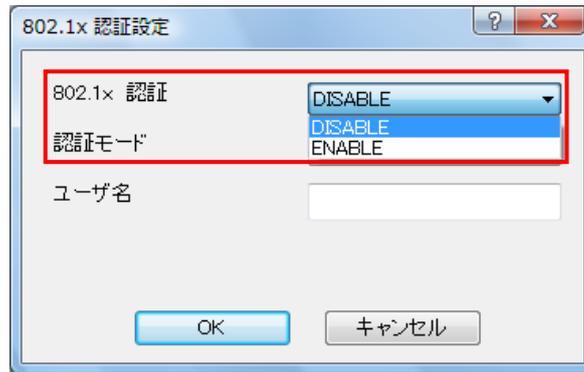


図 5-1-12. 802.1x 認証画面

## 13. 認証モード設定

「LEAP」か「EAP-TLS」を選択してください。

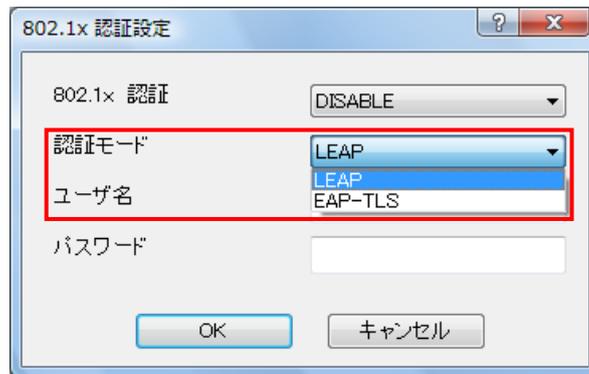


図 5-1-13. 認証モード選択画面

14. 「認証モード」を「EAP-TLS」に指定した場合。

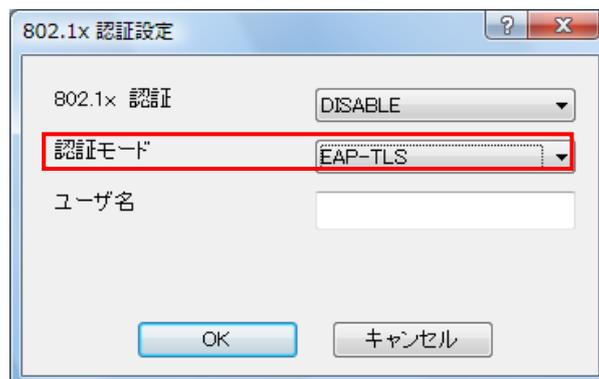
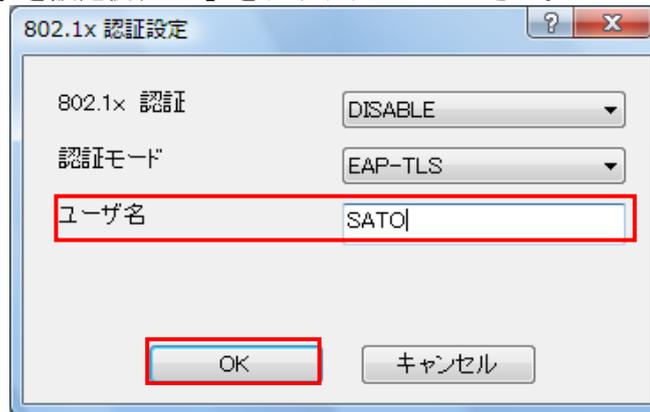


図 5-1-14. EAP-TLS 画面

# ネットワークユーティリティ

## 15. ユーザ名設定

「ユーザ名」を設定後、「OK」をクリックしてください。



802.1x 認証設定

802.1x 認証: DISABLE

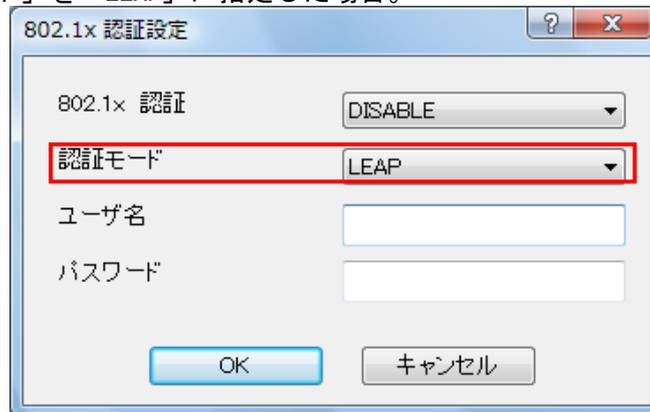
認証モード: EAP-TLS

ユーザ名: SATO

OK キャンセル

図 5-1-15. ユーザ名設定画面

## 16. 「認証モード」を「LEAP」に指定した場合。



802.1x 認証設定

802.1x 認証: DISABLE

認証モード: LEAP

ユーザ名:

パスワード:

OK キャンセル

図 5-1-16. LEAP 画面

## 17. ユーザ名・パスワード設定

「ユーザ名」と「パスワード」を設定後、「OK」をクリックしてください。



802.1x 認証設定

802.1x 認証: DISABLE

認証モード: LEAP

ユーザ名: SATO

パスワード: ●●●●●●

OK キャンセル

図 5-1-17. ユーザ名・パスワード設定画面

# ネットワークユーティリティ

18. 「802.1x 認証設定」をクリックしてください。(WEP を使用する場合)

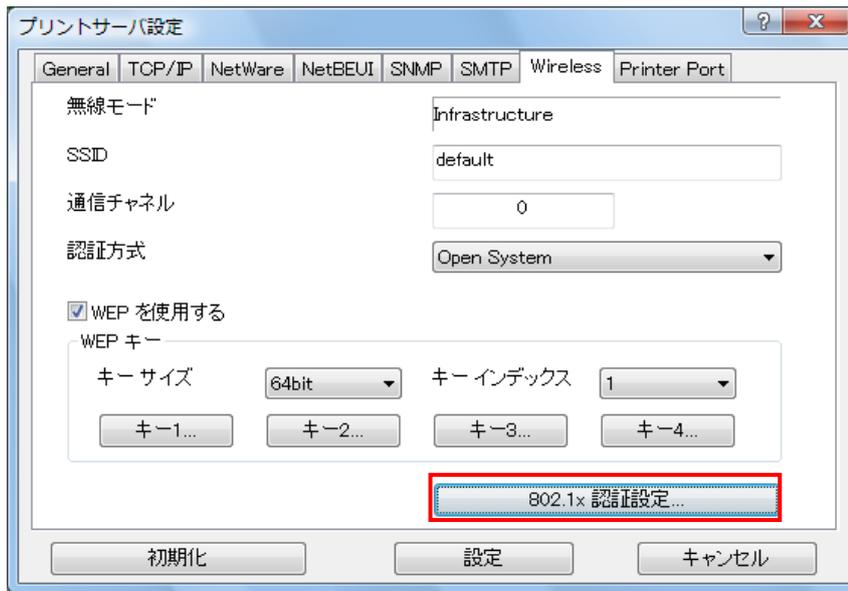


図 5-1-18. 802.1x 認証設定実行画面

19. 802.1x 認証設定  
「DISABLE」か「ENABLE」を選択してください。

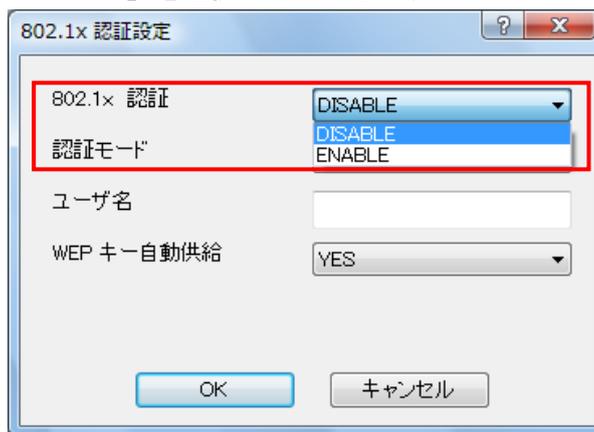


図 5-1-19. 802.1x 認証画面

20. 認証モード設定  
「LEAP」か「EAP-TLS」を選択してください。

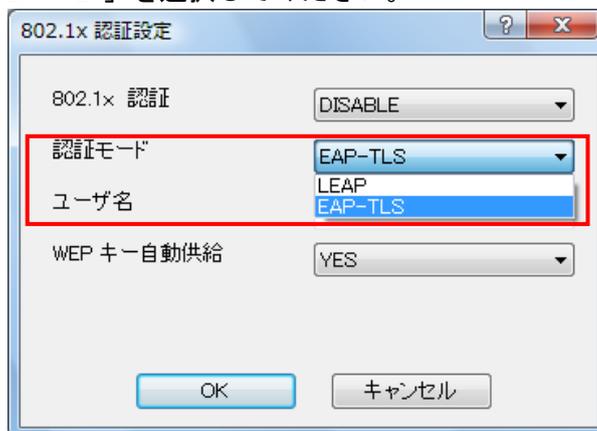


図 5-1-20. 認証モード選択画面

# ネットワークユーティリティ

21. 「認証モード」を「EAP-TLS」に指定した場合

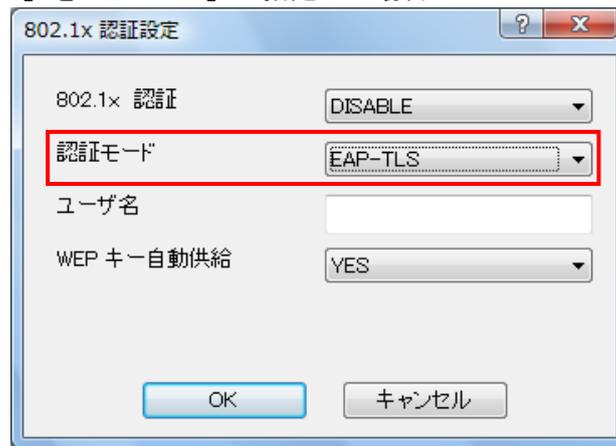


図 5-1-21. EAP-TLS 画面

22. WEP キー自動供給設定

ユーザ名を設定し、WEP キー自動供給を「YES」か「NO」どちらか選択し、「OK」をクリックしてください。



図 5-1-22. WEP キー自動供給選択画面

23. 「認証モード」を「LEAP」に指定した場合。

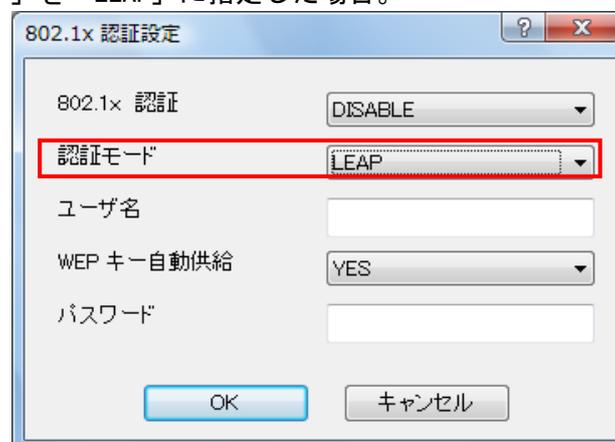
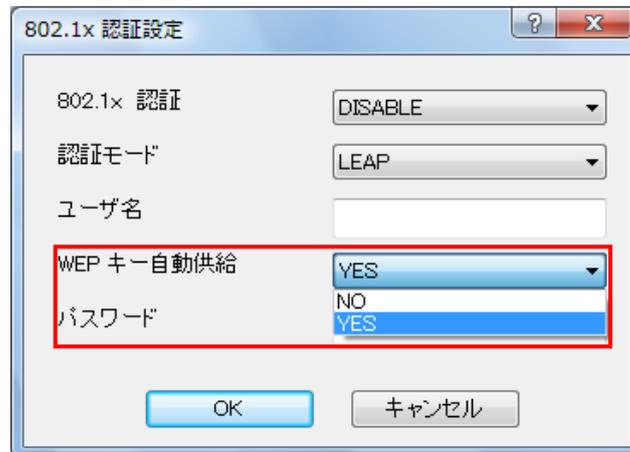


図 5-1-23. LEAP 画面

# ネットワークユーティリティ

## 24. WEP キー自動供給設定

ユーザ名を設定し、WEP キー自動供給を「YES」か「NO」どちらを選択してください。

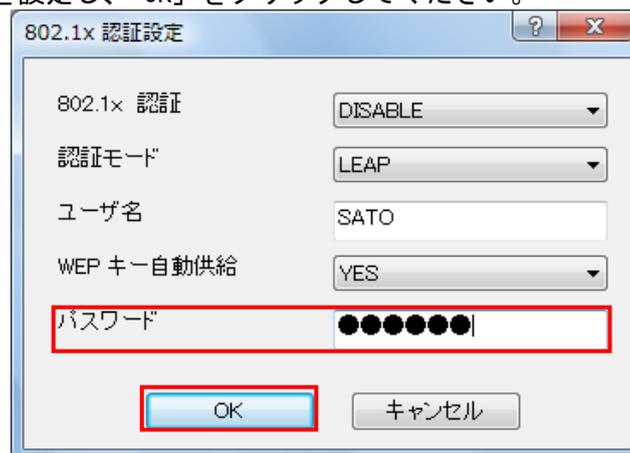


The screenshot shows a dialog box titled "802.1x 認証設定". It contains several settings: "802.1x 認証" is set to "DISABLE", "認証モード" is set to "LEAP", and "ユーザ名" is empty. The "WEP キー自動供給" dropdown is open, showing "YES", "NO", and "YES" options. The "パスワード" field is empty. The "OK" button is highlighted with a red box.

図 5-1-24. WEP キー自動供給選択画面

## 25. パスワード設定

パスワードを設定し、「OK」をクリックしてください。



The screenshot shows the same dialog box as in Figure 5-1-24. The "パスワード" field is now filled with dots and is highlighted with a red box. The "OK" button is also highlighted with a red box.

図 5-1-25. パスワード設定画面

# ネットワークユーティリティ

26. 設定が完了しましたら、「設定」をクリックしてください。



図 5-1-26. 設定完了実行画面

27. 設定項目の変更内容を確認したら「OK」をクリックしてください。

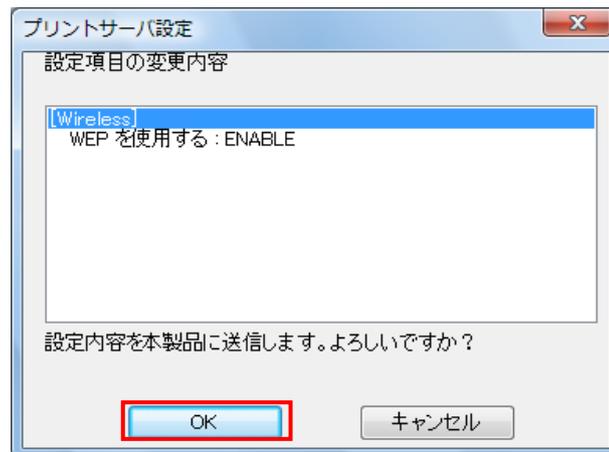


図 5-1-27. 変更内容確認画面

28. 「OK」をクリックしてください。

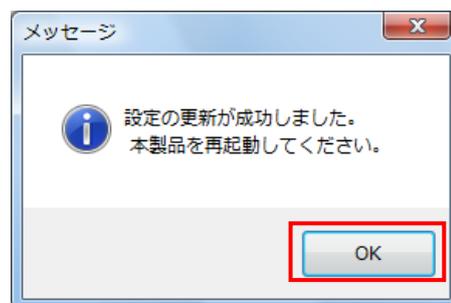


図 5-1-28. メッセージ画面

# ネットワークユーティリティ

29. 設定内容を有効にするには、無線 LAN ボードを再起動する必要があります。  
「設定(S)」 - 「再起動(R)」をクリックしてください。

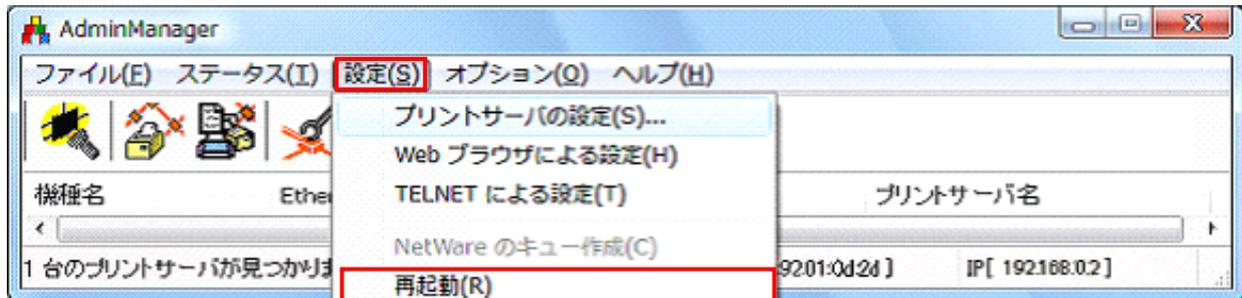


図 5-1-29. 再起動実行画面

30. 「はい(Y)」をクリックしてください。無線 LAN ボードの再起動を実行します。

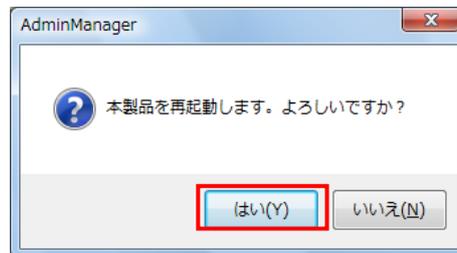


図 5-1-30. 再起動確認画面

31. 設定を行ったプリンタの電源を OFF/ON して再起動を行ってください。
32. 再起動実行後、再度検索を行い設定した IP アドレスが表示されることを確認してください。

# ネットワークユーティリティ

## 【補足説明】

※ 1 認証方式の「Shared Key」を選択した場合、図 5-1-31 のように表示されます。



図 5-1-31. Shared Key 設定画面

※ 2 認証方式の「Shared Key」を選択し、「WEP を使用する」にチェックすると、図 5-1-32 のように表示されます。各設定の詳細につきましては P14 認証方式「Open System」の説明を参照してください。

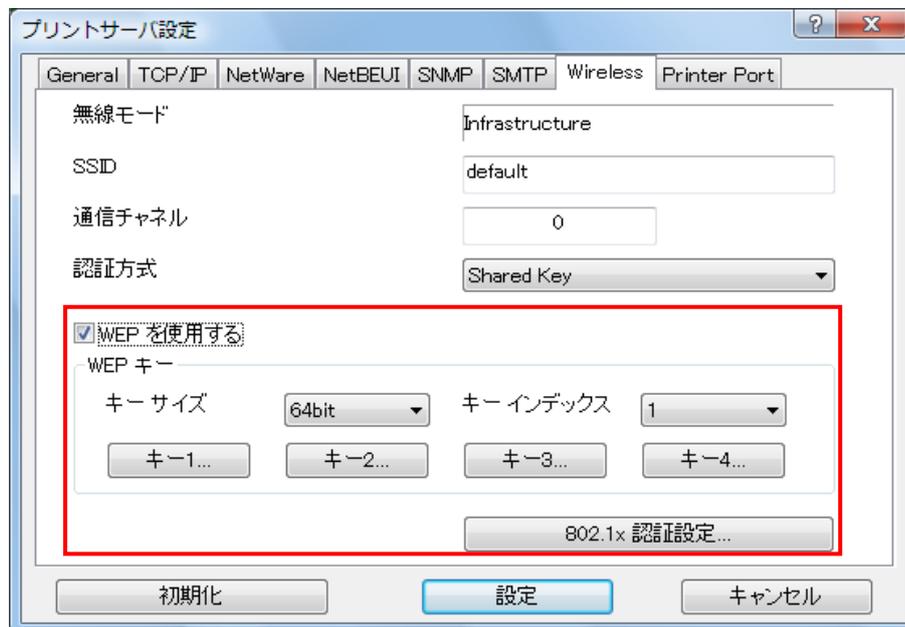


図 5-1-32. Shared Key WEP 使用設定画面

# ネットワークユーティリティ

- ※ 3 認証方式の「WPA」を選択した場合、「WPA」を選択すると図 5-1-33 のように表示されます。



図 5-1-33. WPA 設定画面

- ※ 4 WPA モードを「PSK」か「802.1x」のどちらか選択してください。



図 5-1-34. WPA モード設定画面

# ネットワークユーティリティ

※ 5 WPA モードを「802.1x」にした場合、図 5-1-35 のように表示されます。

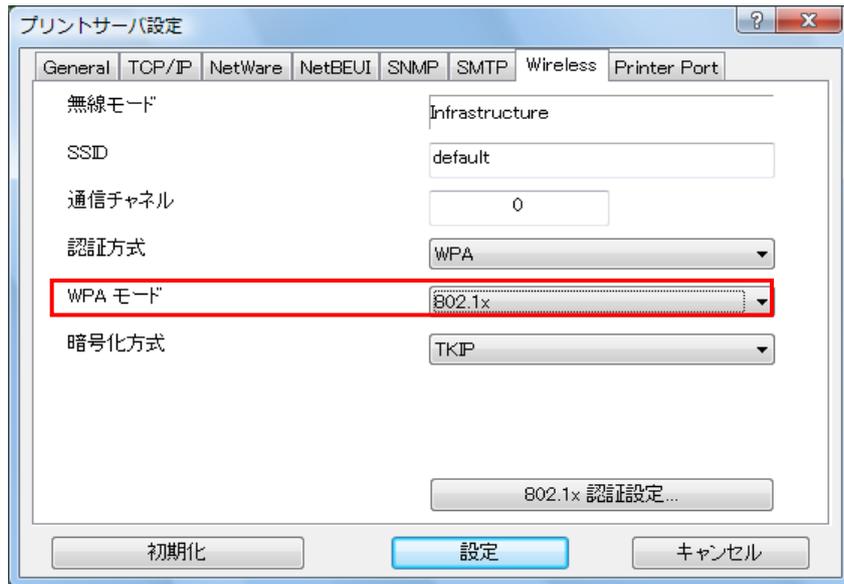


図 5-1-35. 802.1x 設定画面

※ 6 WPA モードを「PSK」にした場合、図のようになります。



図 5-1-36. PSK 設定画面

# ネットワークユーティリティ

※ 7 暗号化方式を「TKIP」か「AES」のどちらか選択してください。

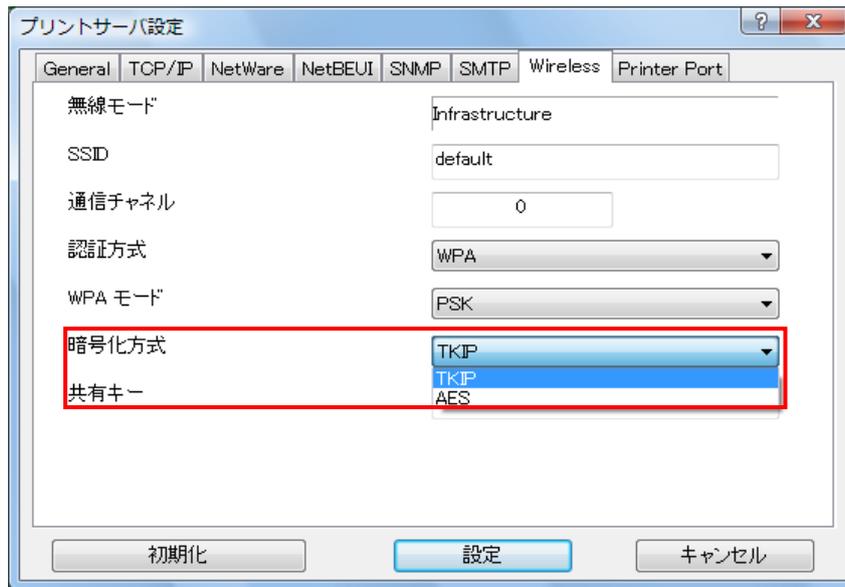


図 5-1-37. 暗号化方式設定画面

※ 8 共有キーを入力してください。

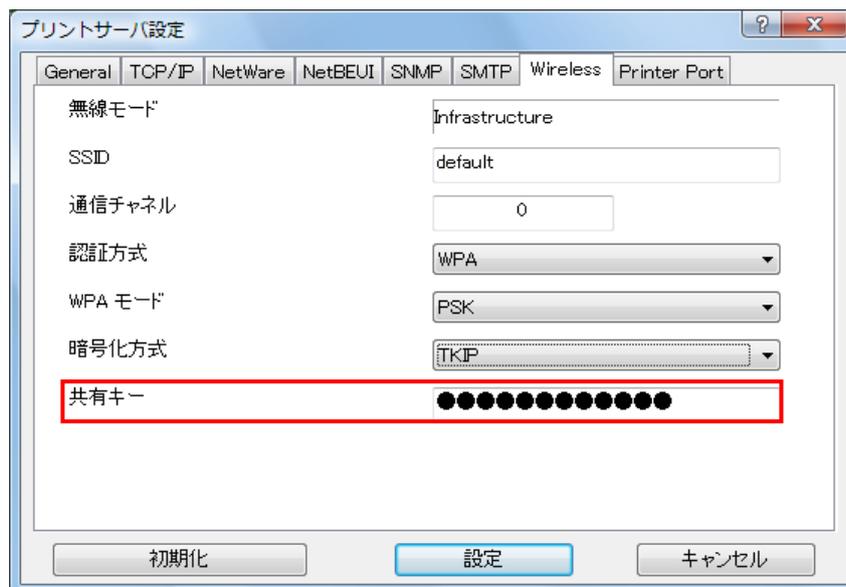


図 5-1-38. 共有キー設定画面

## ネットワークユーティリティ

- ※ 9 プリンタの LAN ボードに IP アドレス、サブネットマスクが設定済みの場合は、パソコンの IP アドレス、サブネットマスクのクラス不一致により、書込みエラーとなる場合があります。  
その際は、プリンタ LAN ボードの設定情報の初期化（プリンタ LAN ボード DSW2 を ON に変更後、プリンタの電源を入れると、10 秒ほどで設定値が初期化されます。初期化後はプリンタの電源を切り、DSW2 を OFF に戻します。）によって、対応することが可能です。  
（初期化操作は必要時のみ行ってください。）
- ※ 10 無線 LAN ボードの WEP Key の初期値は無効のため、アクセスポイント等ホスト側で Wep Key を使用している場合は設定できません。  
その際は、ホスト側の WEP 設定を一時的に無効にして、設定操作を行ってください。
- ※ 11 Windows XP ServicePack2 以降で Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、検索が出来ない場合があります。その際には、無効にしてください。

# ネットワークユーティリティ

## 5.2 「802.11 Ad hoc」モード

無線 LAN ボードの DSW4 : OFF 設定のときに、802.11 Ad hoc モードで動作します。

### 1. SSID 設定

任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます。(初期値は「default」です。)

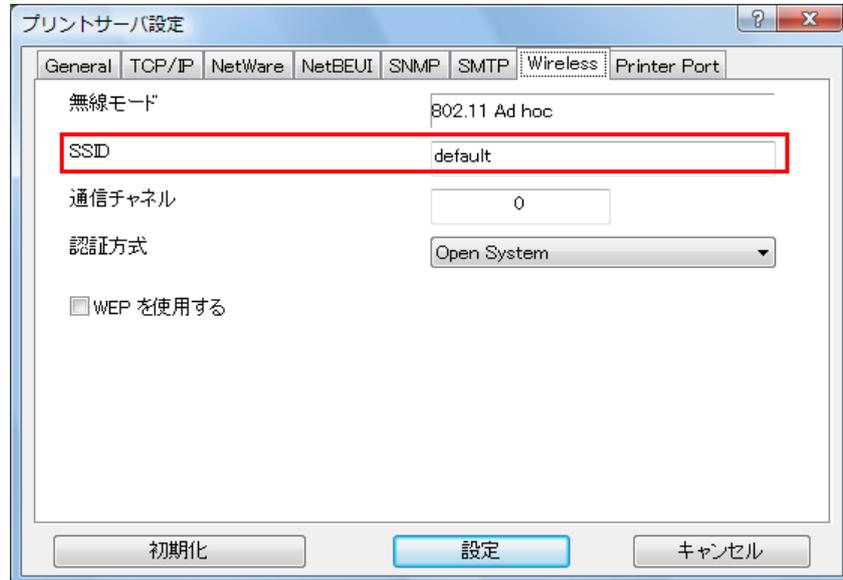


図 5-2-1. SSID 設定画面

### 2. 通信チャンネルの設定をしてください。

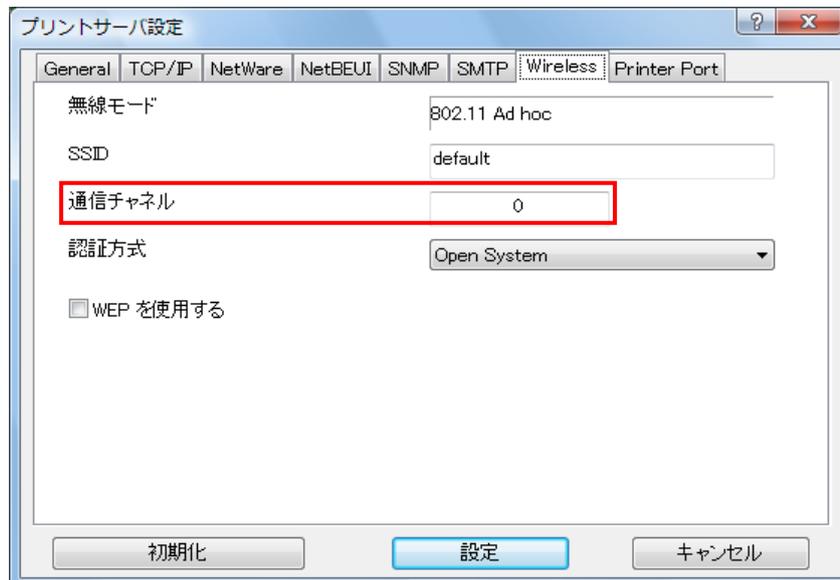


図 5-2-2. 通信チャンネル設定画面

# ネットワークユーティリティ

3. 認証方式を設定してください。「Shared Key」については P38【補足説明】を参照してください。

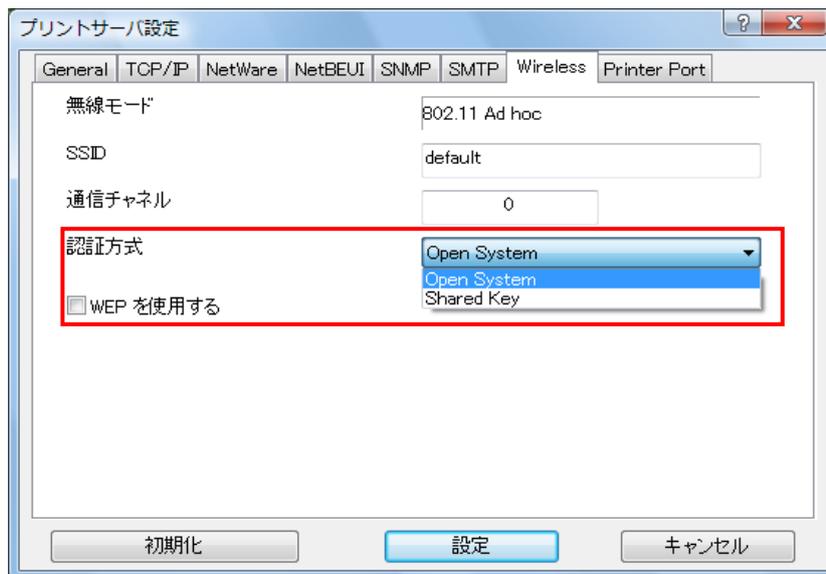


図 5-2-3. 認証方式設定画面

4. WEP を使用する場合、「WEP を使用する」にチェックすると、「WEP キー」が表示されます。WEP を使用しない場合は P36 「11」へ進んでください。

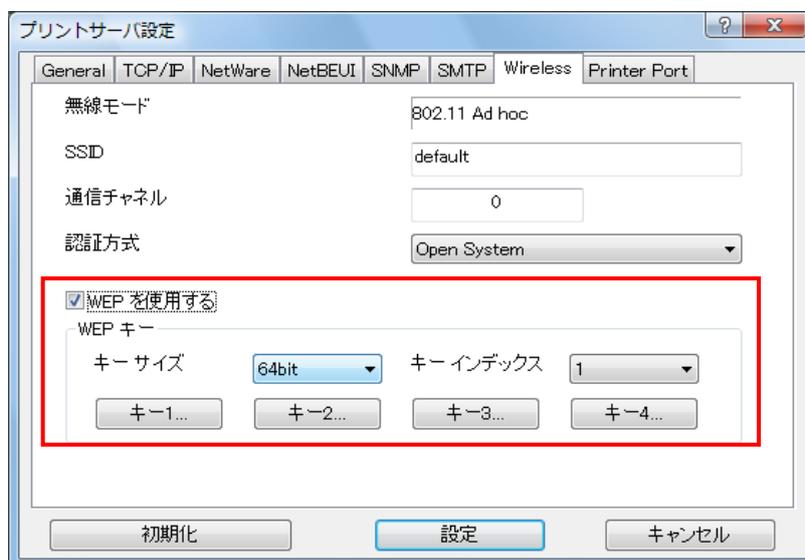


図 5-2-4. WEP 設定画面

# ネットワークユーティリティ

5. キーサイズを「64bit」に指定した場合。  
「キー1」～「キー4」をクリックしてください。



図 5-2-5. キー設定 (64bit) 画面

6. 「キー1」～「キー4」をクリックすると「WEP キー設定」が開きます。図 5-2-6-1「ASCII」を選択した場合は英数字 5 文字を入力し、「OK」をクリックしてください。また、図 5-2-6-2「HEX」を選択した場合は 16 進コードを入力し、「OK」をクリックしてください。

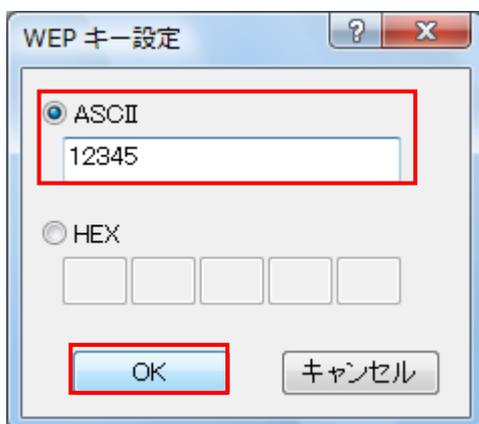


図 5-2-6-1. ASCII 設定画面

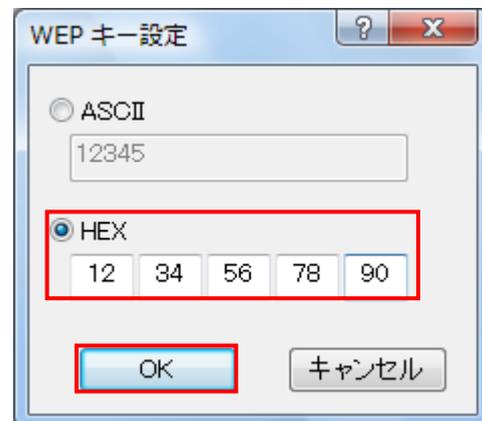


図 5-2-6-2. HEX 設定画面

# ネットワークユーティリティ

7. 「キーインデックス」選択により使用するキーを選択してください。

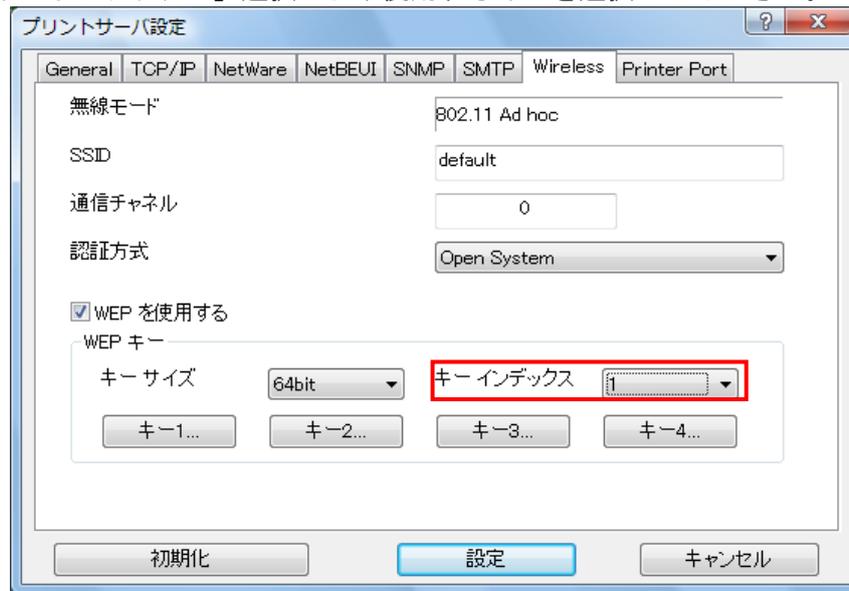


図 5-2-7. キーインデックス選択画面

8. キーサイズを「128bit」に指定した場合  
「キー1」～「キー4」をクリックしてください。

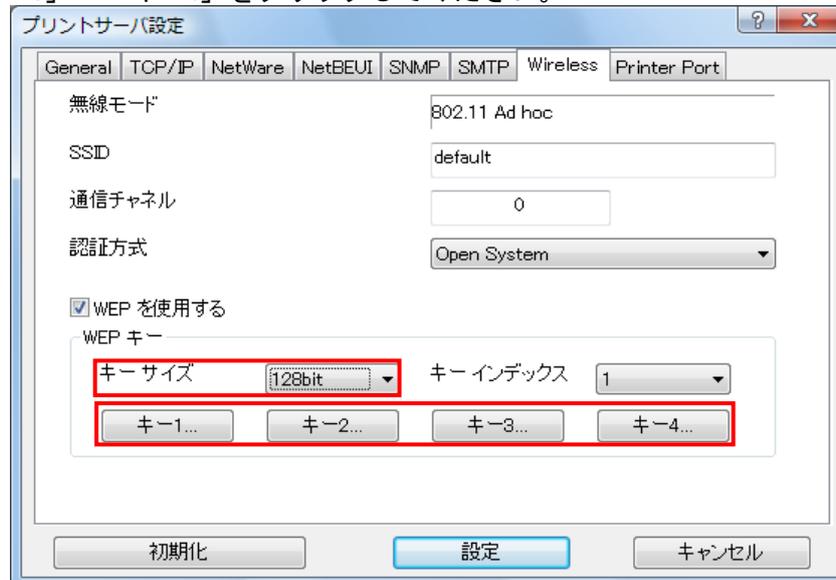
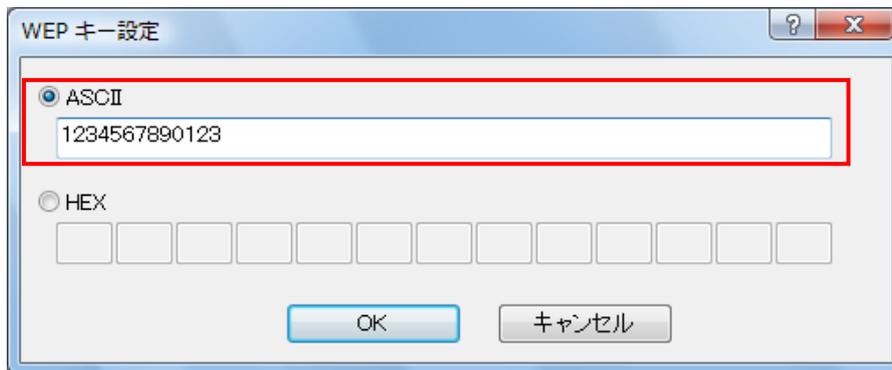


図 5-2-8. キー設定 (128bit) 画面

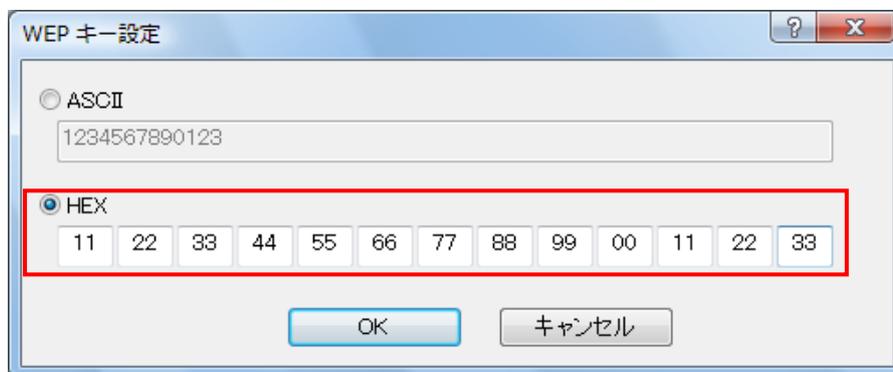
# ネットワークユーティリティ

9. 「キー1」～「キー4」をクリックすると「WEP キー設定」が開きます。図 5-2-9-1「ASCII」を選択した場合は英数字 13 文字を入力してください。また、図 5-2-9-2「HEX」を選択した場合は 16 進コードを入力してください。



The screenshot shows a dialog box titled "WEP キー設定" (WEP Key Setting). The "ASCII" radio button is selected and highlighted with a red box. Below it, a text input field contains the alphanumeric string "1234567890123". The "HEX" radio button is unselected. At the bottom, there are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

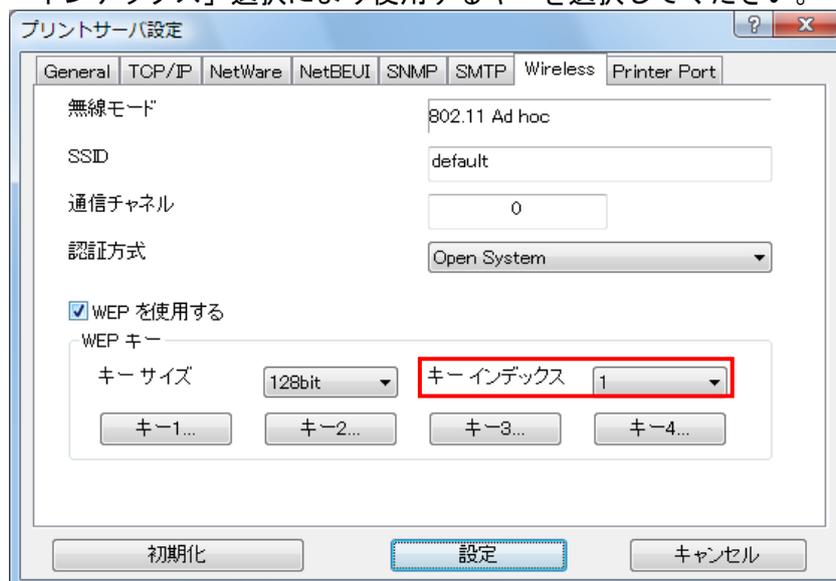
図 5-2-9-1. ASCII 設定画面



The screenshot shows the same "WEP キー設定" dialog box, but the "HEX" radio button is selected and highlighted with a red box. Below it, a row of 13 input boxes contains the hexadecimal code "11 22 33 44 55 66 77 88 99 00 11 22 33". The "ASCII" radio button is unselected. At the bottom, there are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

図 5-2-9-2. HEX 設定画面

10. 「キーインデックス」選択により使用するキーを選択してください。



The screenshot shows a "プリントサーバ設定" (Print Server Setting) dialog box with the "Wireless" tab selected. Under the "WEP を使用する" (Use WEP) section, the "WEP キー" (WEP Key) area has "キーサイズ" (Key Size) set to "128bit" and "キーインデックス" (Key Index) set to "1", both highlighted with a red box. Below this are buttons for "キー1...", "キー2...", "キー3...", and "キー4...". At the bottom, there are "初期化" (Reset), "設定" (Apply), and "キャンセル" (Cancel) buttons.

図 5-2-10. キーインデックス選択画面

# ネットワークユーティリティ

11. 設定が完了しましたら、「設定」をクリックしてください。

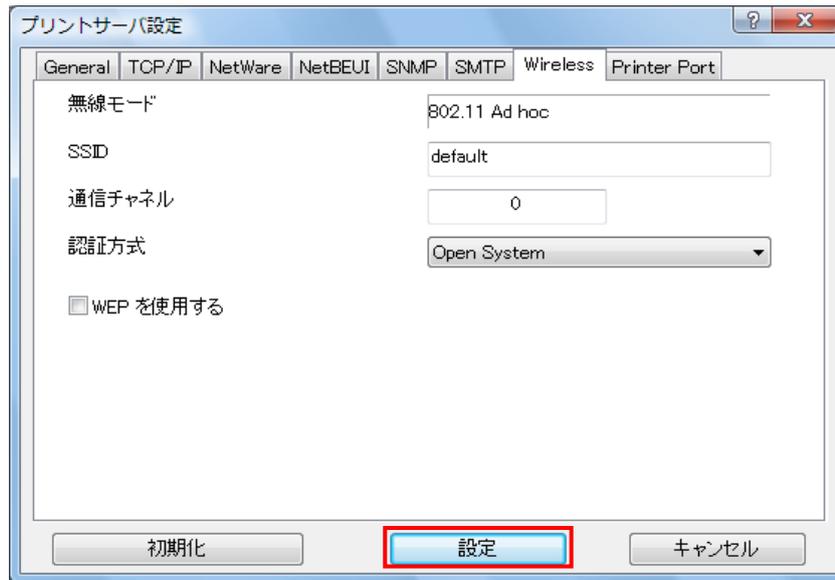


図 5-2-11. 設定完了実行画面

12. 設定項目の変更内容を確認したら「OK」をクリックしてください。

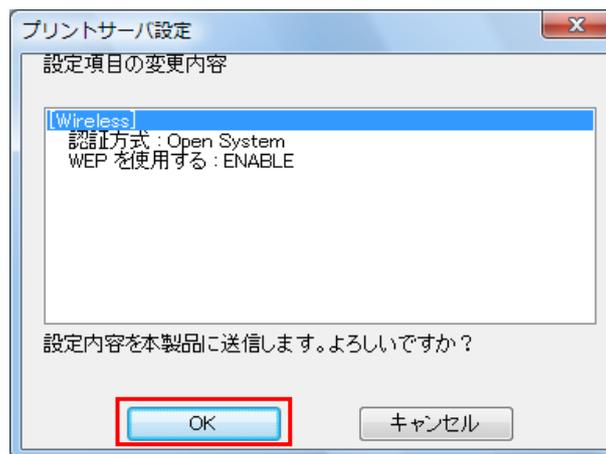


図 5-2-12. 変更内容確認画面

13. 「OK」をクリックしてください。

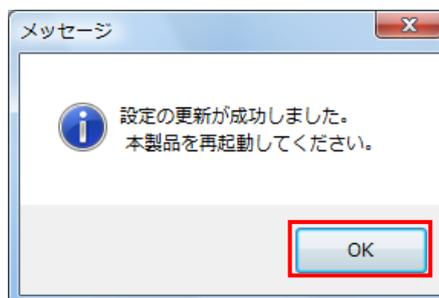


図 5-2-13. メッセージ画面

# ネットワークユーティリティ

14. 設定内容を有効にするには、無線 LAN ボードを再起動する必要があります。  
「設定(S)」 - 「再起動(R)」をクリックしてください。

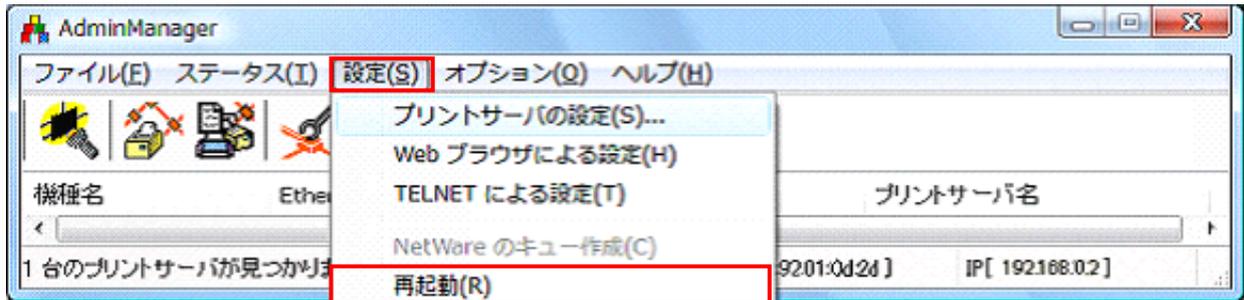


図 5-2-14. 再起動実行画面

15. 「はい(Y)」をクリックしてください。無線 LAN ボードの再起動を実行します。

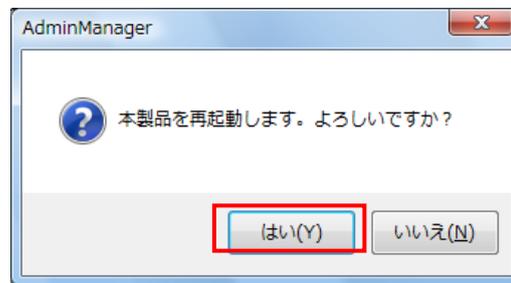


図 5-2-15. 再起動確認画面

16. 設定を行ったプリンタの電源を OFF/ON して再起動を行ってください。
17. 再起動実行後、再度検索を行い設定した IP アドレスが表示されることを確認してください。

# ネットワークユーティリティ

## 【補足説明】

1. 認証方式の「Shared Key」を選択した場合、図 5-2-16 のように表示されます。各設定の詳細は P32 「4」 からの説明を参照してください。

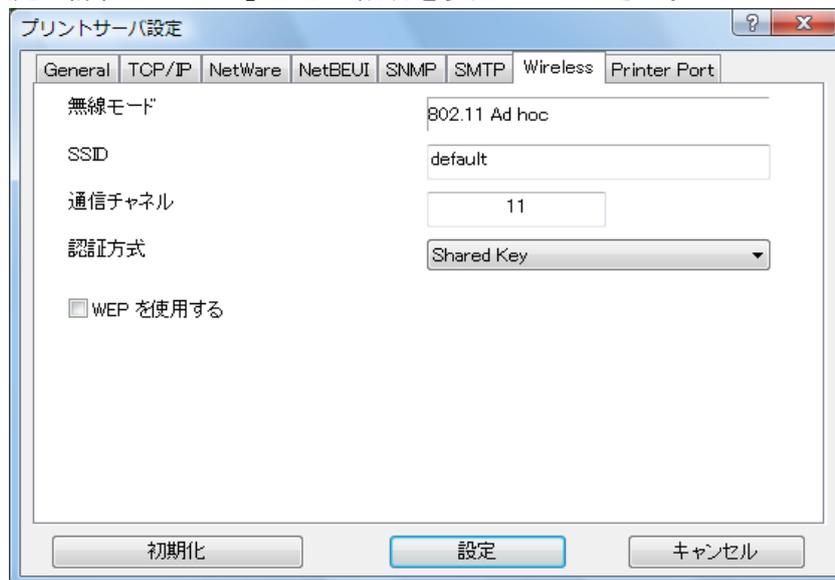


図 5-2-16. Shared Key 設定画面

2. プリンタの LAN ボードに IP アドレス、サブネットマスクが設定済みの場合、パソコンの IP アドレス、サブネットマスクのクラス不一致により、書込みエラーとなる場合があります。  
その際は、プリンタ LAN ボードの設定情報の初期化（プリンタ LAN ボード DSW2 を ON に変更後、プリンタの電源を入ると、10 秒ほどで設定値が初期化されます。初期化後はプリンタの電源を切り、DSW2 を OFF に戻します。）によって、対応することが可能です。（初期化操作は必要時のみ行ってください。）
3. 無線 LAN ボードの WEP Key の初期値は無効のため、アクセスポイント等ホスト側で Wep Key を使用している場合は設定できません。  
その際は、ホスト側の WEP 設定を一時的に無効にして、設定操作を行ってください。
4. Windows XP ServicePack2 以降で Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、検索が出来ない場合があります。その際には、無効にしてください。

# ネットワークユーティリティ

## 6. テスト印刷

### 6.1 自己診断印刷

1. プリンタを選択してください。  
「設定(S)」 - 「自己診断印刷(P)」をクリックしてください。

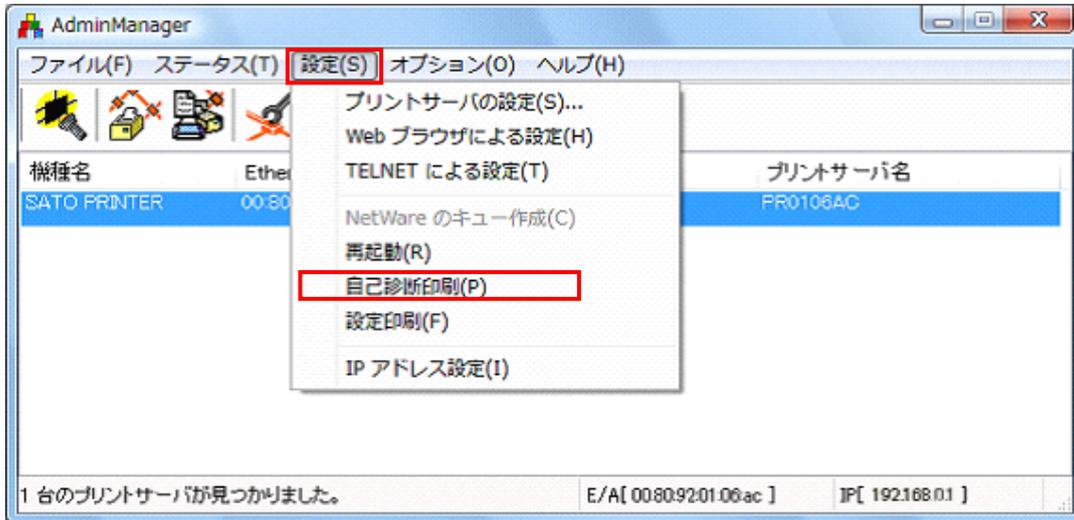


図 6-1. 自己診断印刷画面

2. 確認メッセージが表示されます。  
問題なければ、「はい(Y)」をクリックしてください。  
選択されたプリンタから LAN ボードの自己診断結果が印刷されます。

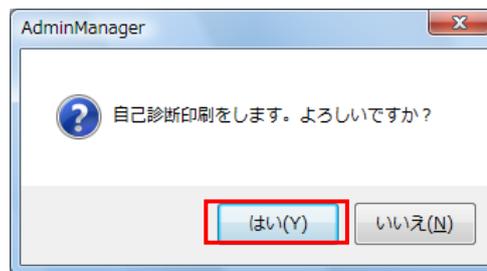


図 6-2. 自己診断印刷確認画面

# ネットワークユーティリティ

## 6.2 設定印刷

1. プリンタを選択してください。  
「設定(S)」 - 「設定印刷(F)」をクリックしてください。

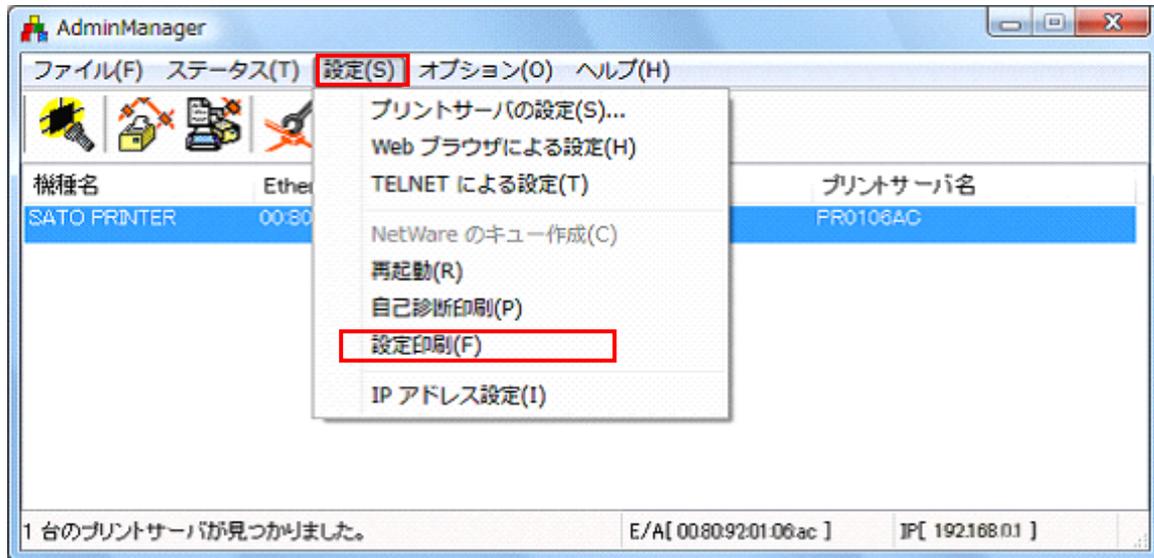


図 6-3. 設定印刷画面

2. 確認メッセージが表示されます。  
問題なければ「はい(Y)」をクリックしてください。  
選択されたプリンタから設定内容が印刷されます。

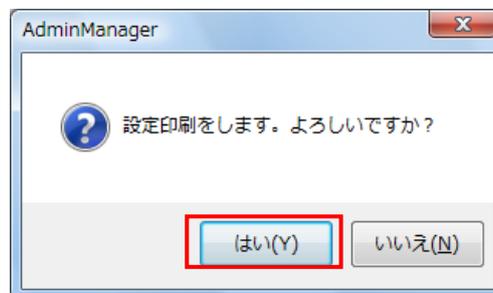


図 6-4. 設定印刷確認画面

# ネットワークユーティリティ

## 7. IP アドレスの設定方法

1. 「設定(S)」をクリックし、「IP アドレス設定(I)」をクリックします。

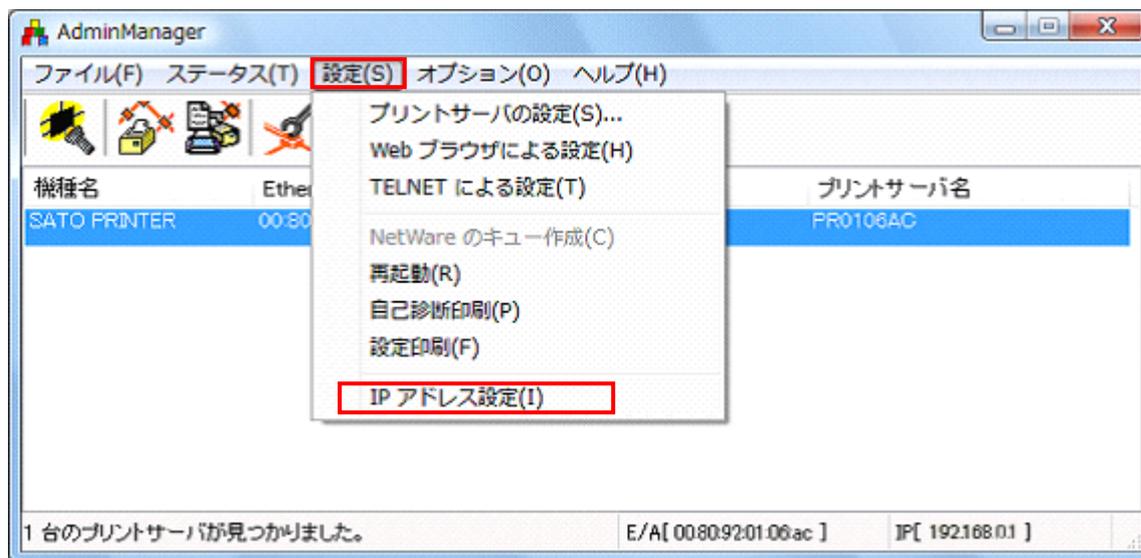


図 7-1. IP アドレス設定実行画面

2. 「Ethernet アドレス (MAC ADDRESS)」と「IP アドレス」の設定を行います。設定後、「OK」をクリックしてください。設定を中止する場合は「キャンセル」をクリックしてください。

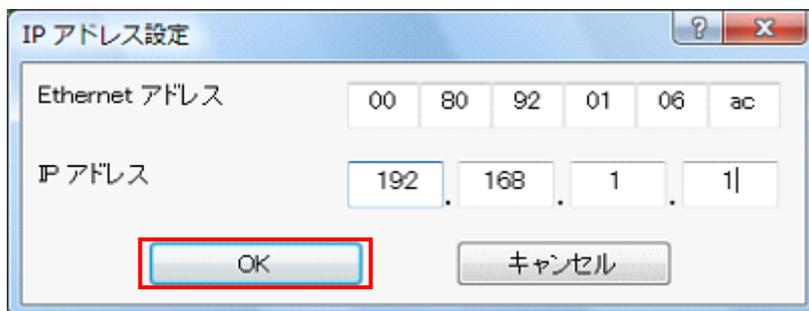


図 7-2. IP アドレス設定画面

3. 設定が成功すると図 7-3 が表示されます。「はい(Y)」をクリックして LAN ボードまたは無線 LAN ボードを再起動させてください。

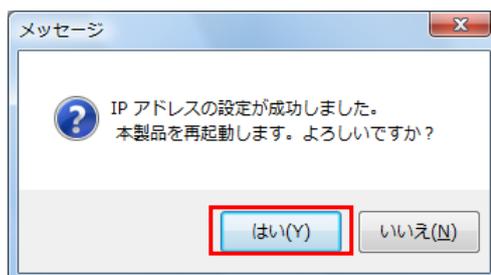


図 7-3. 設定成功画面

# ネットワークユーティリティ

4. 設定を行ったプリンタの電源を OFF/ON して再起動を行ってください。
5. 再起動実行後、再度検索を行い設定した IP アドレスが表示されることを確認してください。

## 【補足説明】

1. プリンタの LAN ボードに IP アドレス、サブネットマスクが設定済みの場合は、パソコンの IP アドレス、サブネットマスクのクラス不一致により、書込みエラーとなる場合があります。その際は、プリンタ LAN ボードの設定情報の初期化（プリンタ LAN ボード DSW2 を ON に変更後、プリンタの電源を入れると、10 秒ほどで設定値が初期化されます。初期化後はプリンタの電源を切り、DSW2 を OFF に戻します。）によって、対応することが可能です。（初期化操作は必要時のみ行ってください。）
2. DHCP サーバ、RARP サーバが設けられた LAN 環境では、プリンタの電源 ON 後に IP アドレスがセットされることがあります。その際は、カスケードを外したローカルな環境で、設定操作を行ってください。
3. Windows XP ServicePack2 以降で Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、検索が出来ない場合があります。その際には、無効にしてください。
4. Windows Vista/7/8/8.1 で「TELNET による設定」を行う場合は、「コントロールパネル」-「プログラム」-「プログラムと機能」を選択後、左側に表示されるタスクから「Windows の機能の有効化または無効化」を選択し、「Telnet クライアント」にチェックを入れ「OK」をクリックしてください。Telnet を有効にした後、「TELNET による設定」を行ってください。
5. Windows Server2008/Server2008 R2/Server2012/Server2012 R2 で「TELNET による設定」を行う場合は、「コントロールパネル」-「プログラム」-「プログラムと機能」を選択後、左側に表示されるタスクから「Windows の機能の有効化または無効化」を選択し、「機能」-「機能の追加」を選択後、「Telnet クライアント」にチェックを入れ「インストール」をクリックしてください。Telnet を有効にした後、「TELNET による設定」を行ってください。

# ネットワークユーティリティ

## 8. インストール方法

ネットワークユーティリティはアクセサリ CD-ROM から直接起動させて使用する方法以外にインストールしてから使用することもできます。以下にインストール方法を示します。

1. アクセサリ CD-ROM の「プリンタ」画面から「ユーティリティ」選択してください。



図 8-1. プリンタ画面

2. リストの中から「ネットワークユーティリティ」を選択し、「インストール」をクリックしてください。



図 8-2. ユーティリティ画面

# ネットワークユーティリティ

3. 「Japanese」を選択した後、「Next」をクリックしてください。

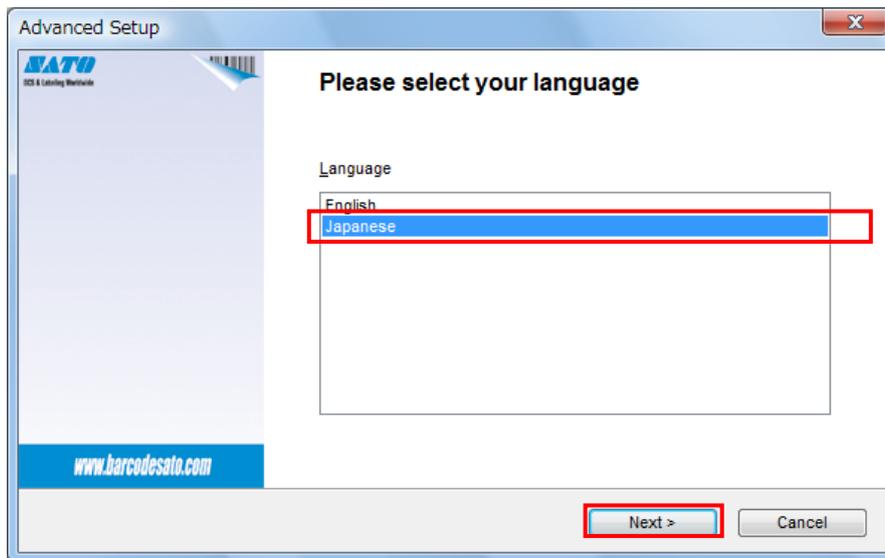


図 8-3. 言語選択画面

4. 「インストールしてから起動する(I)」を選択し、「次へ(N)」をクリックしてください。

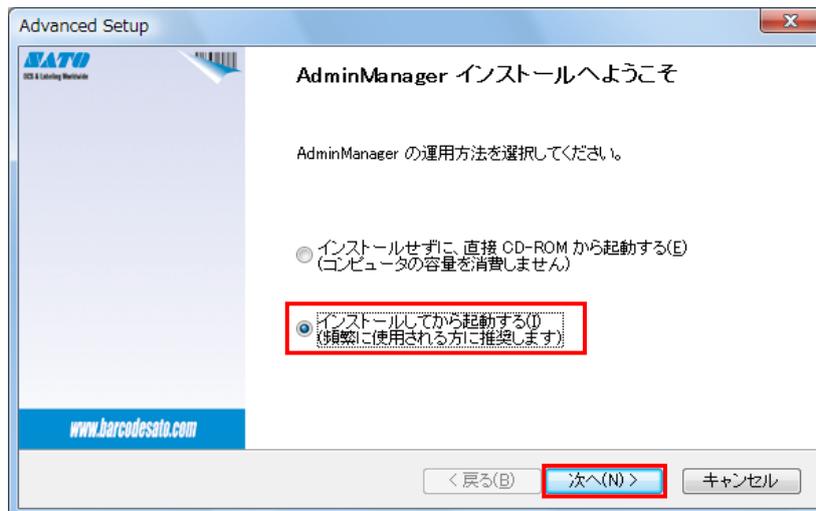


図 8-4. インストール開始画面

# ネットワークユーティリティ

5. 契約書を読んで同意して頂けたら「はい(Y)」をクリックしてください。

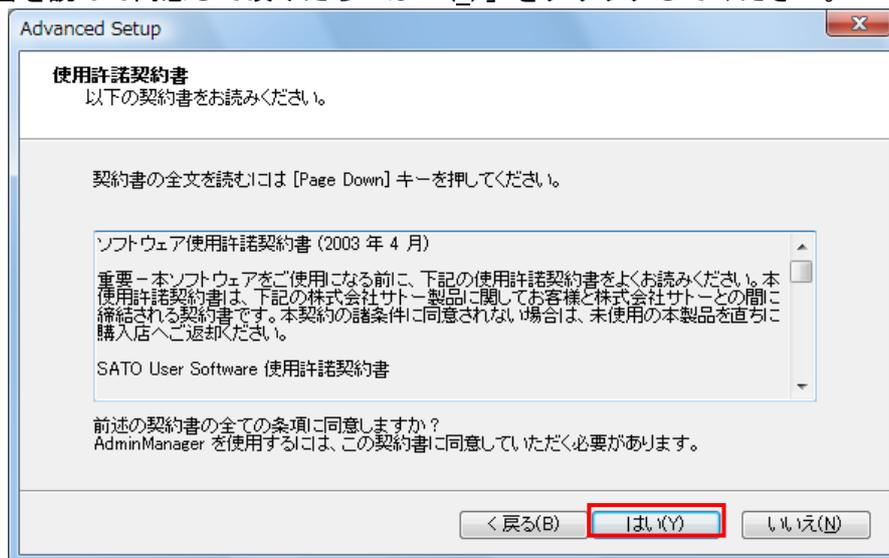


図 8-5. 使用許諾契約画面

6. 表示されたフォルダで良ければ「次へ(N)」をクリックしてください。インストール先のフォルダを変更する場合は「参照(R)」をクリックして、インストール先のフォルダを選択してから「次へ(N)」をクリックしてください。

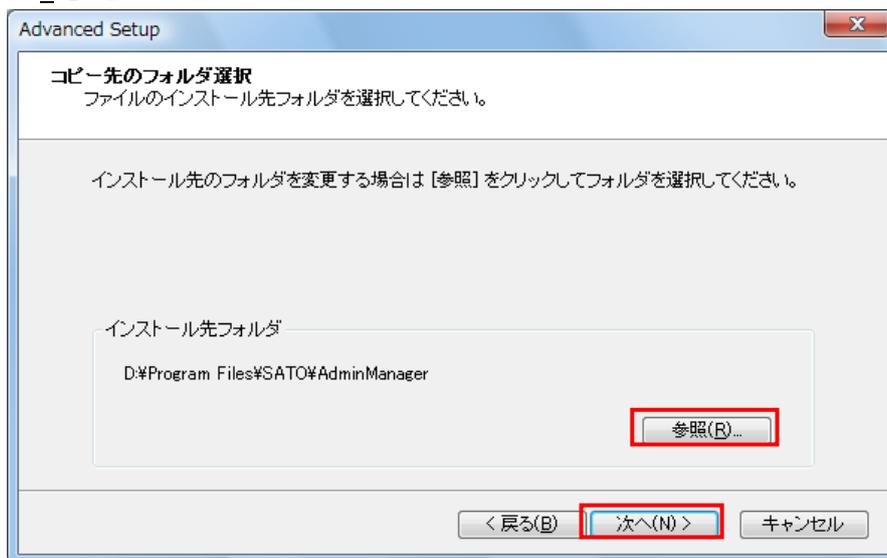


図 8-6. インストール先フォルダ選択画面

## ネットワークユーティリティ

7. 通常は初期値に「AdminManager」が入るためそのまま「次へ(N)」をクリックしてください。変更する場合は登録先のグループを入力するか「既存のグループ(X)」から選択してください。

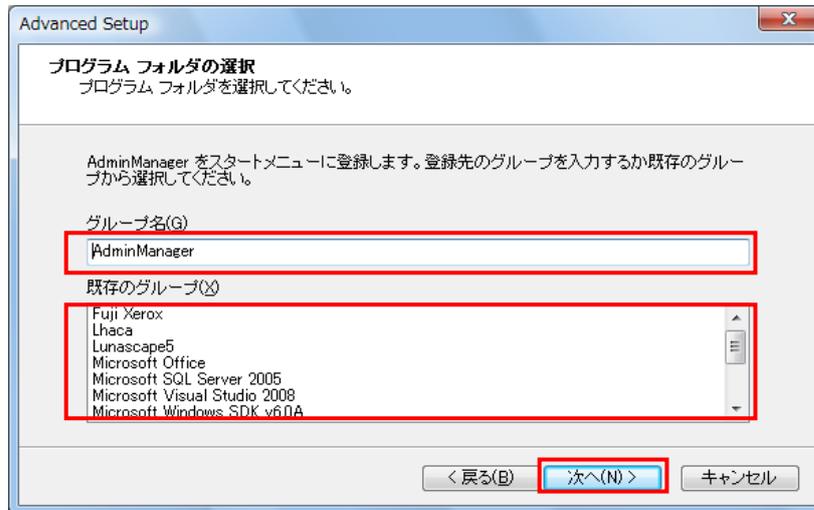


図 8-7. 登録先グループ選択画面

8. インストールの開始をします。設定を確認・変更する必要がある場合は、「戻る(B)」をクリックして確認・変更してください。確認・変更する必要がなければ、そのまま「開始(I)」をクリックしてください。

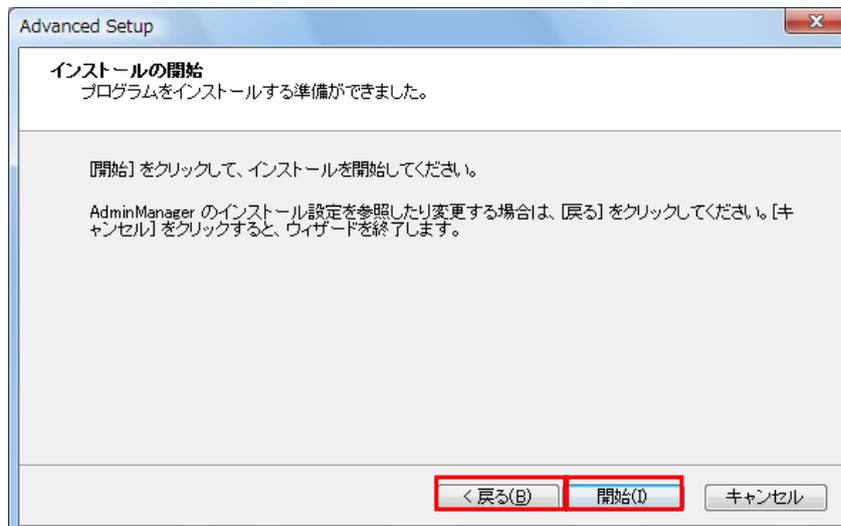


図 8-8. インストール実行画面

# ネットワークユーティリティ

9. 図 8-9 はインストール中の画面です。

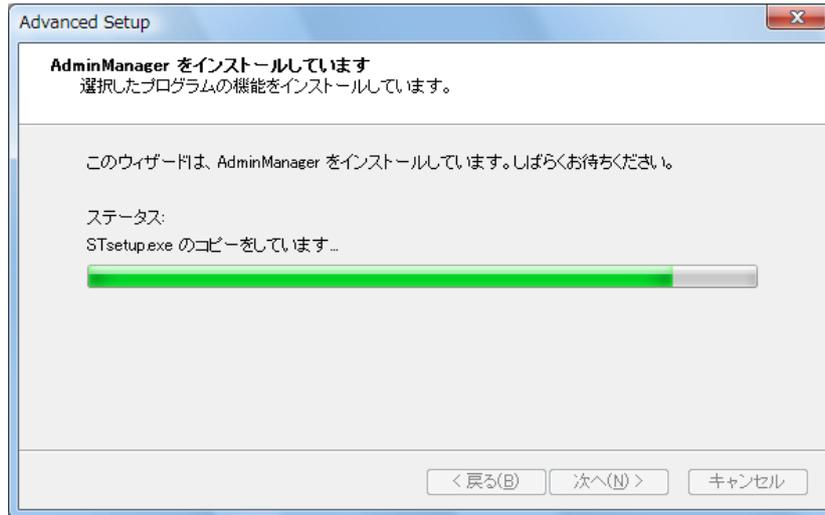


図 8-9. インストール実行中画面

10. インストールを完了して引き続き AdminManager を起動する場合は「はい(Y)」を選択して、「完了(F)」をクリックしてください。インストールを完了して AdminManager を起動しないで終了する場合は「いいえ(N)」を選択して、「完了(F)」をクリックしてください。

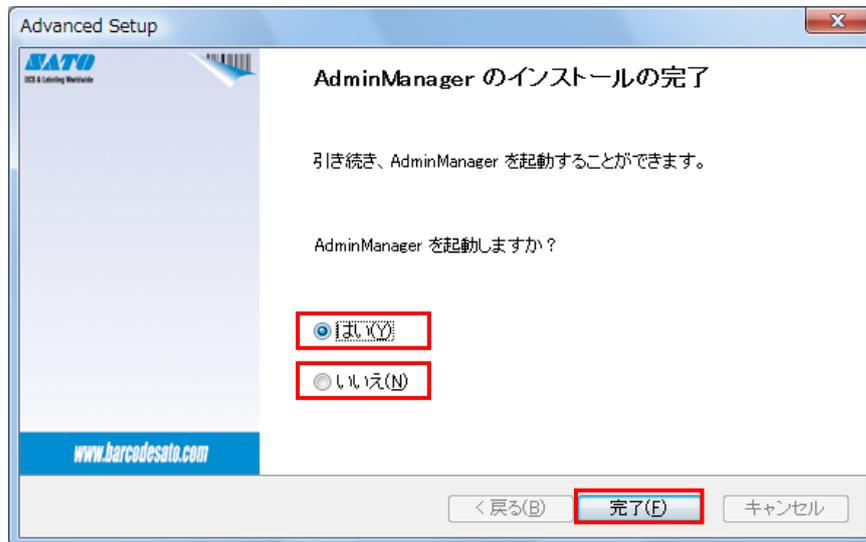


図 8-10. インストール完了画面

11. 使用する際は「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「AdminManager」→「AdminManager」の順に開くことによって AdminManager を起動してください。

# ネットワークユーティリティ

## 9. アンインストール方法

ネットワークユーティリティのアンインストール方法を示します。

- ① Windows の「スタート」 - 「すべてのプログラム(P)」 - 「Admin Manager」を開き、「Admin Manager アンインストール」をクリックします。
- ② 図 9-2 アンインストール確認画面が表示されます。「はい(Y)」をクリックしてください。

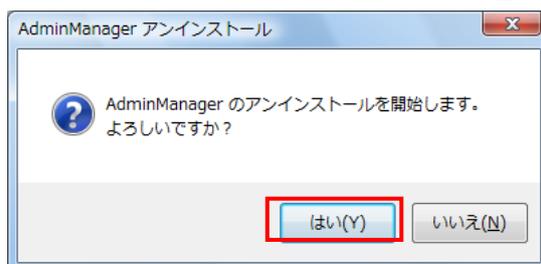


図 9-2 アンインストール確認画面

- ③ 図 9-3 アンインストール中画面が表示されます。

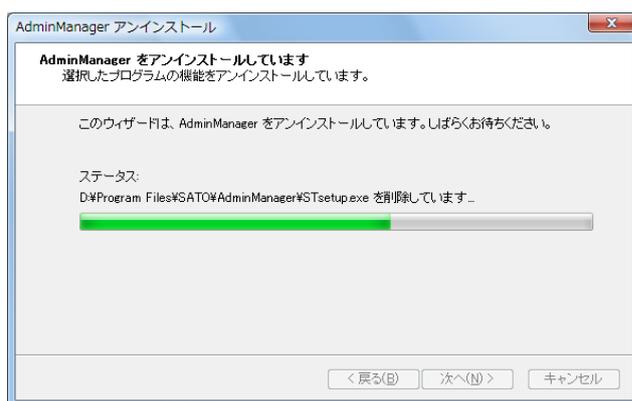


図 9-3 アンインストール中画面

- ④ 図 9-4 アンインストール完了画面が表示されます。「完了(F)」をクリックしてください。これでアンインストールは完了です。

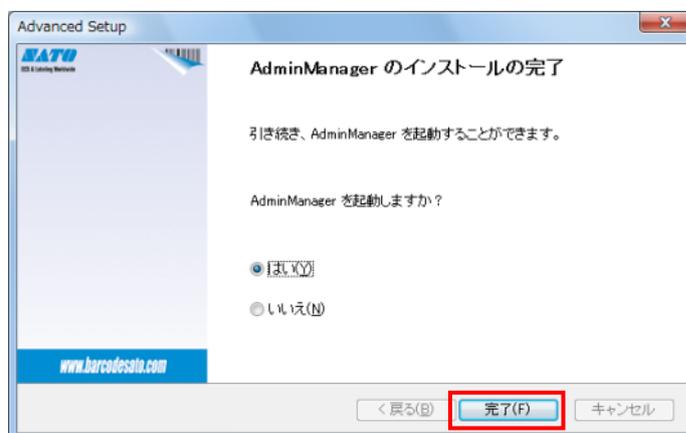


図 9-4 アンインストール完了画面